昭和35年11月28日第3種郵便物認可

令和3年(2021年)　第2186号

人と物流の、より良い関係づくり「ハント・ハント」。
創刊1968年
あなたが必要な物流情報を、ワイドに、グローバルに、正しく。
わたしたちの情報は、新しい「物流」の指標となる。
物流ニッポン
LOGISTICS NIPPON
株式会社 物流ニッポン新聞社　http://www.logistics.co.jp
フリーダイヤル 0120-11-5655　電子メール nippon@logistics.jp

Japan Trucking Association

広報 とらっく

毎月1日・15日発行
10月15日号
発行所 公益社団法人 全日本トラック協会
〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目2番地5
全日本トラック総合会館
☎ (03) 3354-1029 (総務部広報室)
https://jta.or.jp
※紙面に関する問い合わせは広報室まで
(定価・税込348円／会員の購読料は会費に含みます)

自信と誇りに満ちたドライバーのベストな労働環境を!!



北側トラック議員懇話会会長（元国土交通大臣）同席（写真右）
左から、伊藤財務副大臣、斉藤国交大臣、坂本会長（10月12日、国土交通省）

就任を機に 斉藤鉄夫国土交通大臣と懇談

全日本トラック協会の坂本克己会長は10月12日、10月4日に発足した岸田内閣において新たに就任した、斉藤鉄夫国土交通大臣との懇談を行った（北側一雄公明党トラック議員懇話会会長、伊藤渉財務副大臣同席）。

全ト協は現在、国土交通省などと連携し、持続可能な物流を実現させるために、運送事業者や荷主企業等に対して「標準的な運賃」への理解促進を図ることを目的とした「標準的な運賃」普及推進運動を展開。特に、今年度を重点期間と位置づけ、届出促進に向けた様々な取り組みを精力的に展開している。

坂本会長は斉藤国交大臣に対して、「トラックドライバーが働きやすい職場環境の整備を推し進める上で、今こそ改正貨物自動車運送事業法への取り組みを促進していかなければならない。全ト協としても会員事業者への働きかけを強化してまいりたい」と決意を述べた上で、斉藤国交大臣に対して、「標準的な運賃」の届出促進に向けた協力を要請した。

運送事業者が今後も事業を継続していくためには、事業継続に必要なコストを収受し、それを原資として、トラックドライバーが働きやすい職場環境の整備に取り組んでいく必要がある。

全ト協では現在、改正貨物自動車運送事業法の成立を受けて昨年4月に告示された「標準的な運賃」に関して、会員事業者への周知、届出等の促進を図るため、「『標準的な運賃』普及推進運動」を展開し、標準的な運賃の届出促進に向けた取り組みを行っている。

坂本会長は懇談の中で、斉藤国交大臣に対し、「運送事業者が『標準的な運賃』を届け出て、交渉に臨み、利潤を確保して将来への投資を継続していくことは、『ドライバーの労働環境改善を何としても実現させる』という、荷主への強いメッセージとなる。全ト協では引き続き、会員事業者への強力な働きかけを継続し、『標準的な運賃』の早期届出に向けて精力的に取り組んでいきたい」と力強く述べた。また、斉藤国交大臣に対して、届出促進に向けた協力を要請した。

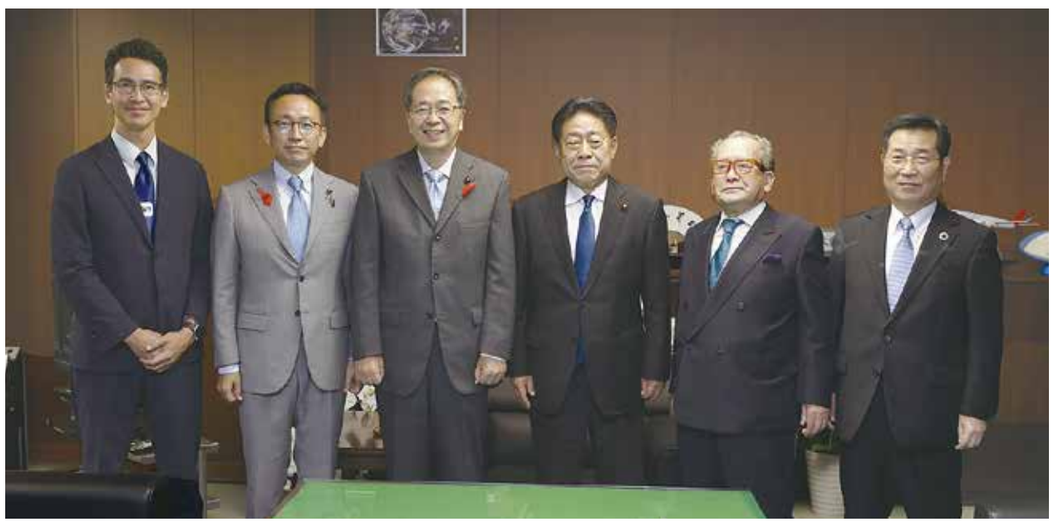
さらに、坂本会長は「荷主対策の深度化」はドライバーの労働環境改善に欠かせないとし、斉藤国交大臣に対し、事業者の違反原因行為を行う荷主への積極的な働きかけを要望した。

それを受けて斉藤国交大臣は、「国交省としても、全ト協の皆様と強力に連携しながら、『標準的な運賃』の荷主企業へのさらなる浸透と共に、『荷主対策の深度化』にも取り組んでまいりたい」と応じた。

また、当日は北側一雄公明党トラック議員懇話会会長、伊藤渉財務副大臣も同席。坂本会長は斉藤国交大臣や北側懇話会会長、伊藤財務副大臣に対して、高速道路料金の引下げについて、特に大口・多頻度割引制度の拡充について強く要望した。

今回の懇談は坂本会長の主導により実現したもので、当日は、全国ハイヤー・タクシー連合会の川鍋一朗会長と神谷俊広理事長、日本バス協会の南正人副会長と石指雅啓理事長も同席した。

大口・多頻度割引制度の積極的な議論
伊藤渉財務副大臣同席



左から、川鍋全国ハイヤー・タクシー連合会会長、伊藤財務副大臣、斉藤国交大臣、北側トラック議員懇話会会長、坂本全ト協会長、南日本バス協会副会長（10月12日、国土交通省）

軽油価格情報

全国平均価格：円／リットル（消費税抜き）
▶全日本トラック協会調べ

年　月	スタンド	ローリー	カード
令和３年６月	109.33	100.46	109.32
令和３年７月	112.06	103.36	111.99
令和３年８月	110.60	101.49	110.74

交通事故統計

令和３年9月末
事業用トラック第1当事者死亡事故件数
軽貨物は除く。（）内は前年同月比増減数
▶警察庁調べ

事業用貨物自動車の死亡事故件数					全国の死亡事故件数	交通事故死者数（人）	
大型	中型	準中型	普通	計		9月30日現在	10月14日現在
80（−2）	40（+6）	19（−7）	5（+1）	144（−2）	1,789（−158）	1,828（−160）	1,943（−176）

コラムラインナップ

トラック運送事業者のための経営のヒント【ミニ物流プラットフォームの構築】…３面／
食の新旧街道を行く【「鯖街道寄り道したい味④」京都市山端のぐじの若狭焼き】…７面





ニュース・ターミナル（トラック協会ニュース）

全ト協
表彰式はライブ配信を実施
第53回「全国トラックドライバー・コンテスト」

全日本トラック協会では、10月23日(土)～25日(月)にかけて、第53回「全国トラックドライバー・コンテスト」を開催する（関連7面）。

10月23日(土)・24日(日)に自動車安全運転センター安全運転中央研修所（茨城県ひたちなか市）で実施する実科競技・学科競技は、完全無観客開催となる。そのため、選手の関係者（家族、勤務先などの付き添い、トラック協会職員等）、報道、一般来場者の来場は不可となる。

なお、同25日(月)に実施される表彰式は、インターネット上の「YouTube全ト協チャンネル（JTAvideo）」（二次元コード）でライブ配信を実施する。

JTAvideo
YouTube全ト協チャンネル

過労死等防止に向け「緊急対策リーフレット」作成
第16回労働安全・衛生委員会

10月4日、第16回「労働安全・衛生委員会」（楠木寿嗣委員長）が書面審議で開催された。

役員選任では、坂田喜信氏（岸本運送㈱代表取締役会長・大阪府）を新副委員長に選任するとともに、人事異動に伴う変更として、鷺川陽一氏（日本通運㈱安全衛生推進部長・全国）を新副委員長に選任した。

令和3年度事業の進捗状況として、①過労死等防止計画推進に係る各種指標、②労働安全・衛生関係セミナーの開催状況、③労働安全・衛生関係助成事業、④「陸運事業者のための安全マネジメントガイドライン」の作成――について書面審議を行い、原案通り承認した。

①では、平成30年3月に策定した「過労死等防止計画」の取り組み期間が残り1年半となっていることから、健康管理、就労措置、運行管理など、トラック運送事業者がすぐに取り組むことのできる「緊急対策」の確実な実行を呼びかける啓発リーフレットを作成することとした。

また、④の「陸運事業者のための安全マネジメントガイド」については、陸上貨物運送事業労働災害防止協会（陸災防）作成の「陸運業の労働安全衛生マネジメントシステムガイドライン（RIKMS）」の改訂に伴い平成21年に作成した国土交通省の「運輸安全マネジメント」と、厚生労働省の「労働安全衛生マネジメント」と取り組む際のポイントを示したマニュアル「安全マネジメントガイドブック」の改訂版を陸災防と連携して作成する。

そのほか、「令和3年度労働災害発生状況（速報）」や、厚労省「陸上貨物運送事業における労働災害防止に向けた一層の取組について」に関する協力依頼、国交省「健康起因事故防止のための取組に関するアンケート調査」等について承認した。

なお、同調査は、10月29日(金)までの回答期限でWebでの回答を受け付けており、全ト協ホームページトップページの特設バナーからアクセスし、回答することができる。

全ト協行事予定（10月15日～31日）
▽10月23日・24日
・第53回全国トラックドライバーコンテスト
▽10月25日
・第53回全国トラックドライバーコンテスト表彰式

委員長に吉田修一副会長が就任
第6回施設事業委員会

10月14日、第6回「施設事業委員会」が開催された。

会議冒頭に行われた委員長の選任では、委員長に吉田修一委員（全日本トラック協会副会長・神奈川県トラック協会長）を選任した。

議事では、①諫早トラックステーションの運営（案）、②安城トラックステーションの運営（案）について審議を行い、原案通り承認した。

そのほか、トラックステーション利用実態調査報告書、各トラックステーションの利用状況や修繕工事に係る進捗状況、彦根トラックステーションの大規模修繕工事の状況、鹿児島トラックステーションの売却状況、飲酒運転根絶ポスターを各トラックステーションに配布したこと等について報告が行われた。


第6回施設事業委員会（10月14日、全ト協）

ロールボックスパレット・テールゲートリフター使用時のチェックリストを作成

今号の『広報とらっく』に同封

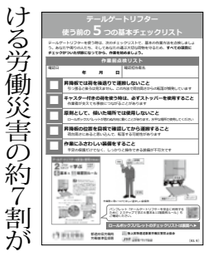
厚生労働省と（独）労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所はこのほど、リーフレット「ロールボックスパレット・テールゲートリフター　使う前の5つの基本チェックリスト」（写真）を作成した。

陸上貨物運送事業における労働災害の約7割が荷役作業中に発生しており、特に荷台等からの墜落・転落が最も多くなっている。また、ロールボックスパレット（カゴ車）の取り扱い中の災害も多発している。

厚労省などでは、同リーフレットの内容を踏まえ、荷台昇降時の災害を含めた荷役作業時のより一層の安全対策の推進に取り組むよう、事業者に対して呼びかけている。

なお、同リーフレットは、今号の『広報とらっく』に同封している。





都道府県ト協
青少年向けパラパラ漫画アニメーション動画を公開
大阪府トラック協会

大阪府トラック協会（中川才助会長）では、令和3年度「トラックの日（10月9日）」行事の一環として、パラパラ漫画アニメーション動画（写真）を作成し、大阪府ト協YouTubeチャンネル（二次元コード）で配信している。

同動画は、若い世代を中心とした人材不足が喫緊の課題となっているトラック運送業界において、主に中学生や高校生などの青少年に対して、業界やトラックドライバーの仕事への興味・関心を抱いてもらうために制作。就職活動に苦しみながらトラック運送業界に就職した青年が、苦労を重ねながらもトラックドライバーの魅力に気付いていく様子を描いている。

大阪府ト協では、各種SNSを通じて同動画の広告配信を行うとともに、今後動画の二次元コードをカバーに記載した除菌シートを、高校生等に配布することにしている。



大阪府ト協

県西トラック休憩所を10月19日㈫に閉鎖
茨城県トラック協会

茨城県トラック協会（小倉邦義会長）が平成8年から運営してきた県西トラック休憩所（茨城県結城市）は、10月19日㈫17時をもって閉鎖となる。

TS（トラックステーション）情報

「段階的緩和措置等」に伴い食堂施設の運営時間を短縮
各TSの運営時間の詳細については、全ト協ホームページを参照のこと。

福祉施設の運営時間を変更
矢板トラックステーション

矢板TSでは10月1日㈮から、食堂・休憩室・入浴施設・女性用シャワー・コインランドリーの運営時間を変更している。

なお、運行情報センター等他の施設については変更はない。

詳細については、全ト協ホームページを参照のこと。

受変電設備改修工事のため全館を一時休業
大阪トラックステーション

大阪TSでは、受変電設備改修工事のため、10月19日㈫21時～10月20日㈬朝5時までの間、全館一時休業となる（駐車場の利用は可能）。

法令○×クイズ
～点検整備編～



❶ タイヤの空気圧およびタイヤの溝の深さが十分であるかどうかの点検は、1日1回、運行前に行わなければならない。（○・×）

❷ ディスク・ホイールの取付状態の点検が義務づけられているのは、車両総重量6.5トン以上又は乗車定員30人以上の自動車である。（○・×）

❸ 日常点検においてエンジンオイルの量が適当であるかどうかは、当該自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に行うことで足りる。（○・×）

❹ 事業用貨物自動車は、6か月ごとに定期点検整備を実施しなければならない。（○・×）

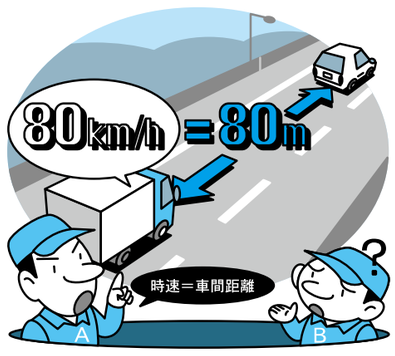
❺ 事業用貨物自動車の自動車検査証の有効期間は、車両総重量にかかわらず、初回は2年、2回目以降は1年である。（○・×）

（解答は7面）

〔第109回〕
高速道路を安全に走行しよう

緊急事態宣言が解除されても油断は禁物ですが、これからの時期は、旅行やレジャーなどで交通量が増えることが予測されます。それに伴い、高速道路の利用者も増加し、高速道路での事故の多発が懸念されます。高速道路での安全運転を再確認しておきましょう。









●スピード抑止と車間距離の確保が安全運転の基本

Aさん「Bさん、緊急事態宣言が解除されたね。マイカーは公共交通機関に比べて『密』が避けられることから、旅行やレジャーなどで利用する人が増えそうだね」

Bさん「そうだね。旅行やレジャーで出かける人が増えると、高速道路の交通量が増える。そのことで事故が多発しないか、今から心配だよ」

Aさん「今までガマンを重ねてきたからね。ところでBさんは、高速道路を走行する時、どんなことに気をつけているの」

Bさん「そうだな。まず、スピードをあまり出さないように心がけているよ。僕たちが運転するトラックはリミッターがついているから、好き勝手にスピードは出せないようになっているけれど、やっぱりスピードを出そうとすると気持ちも焦ったり、危険の見落としに繋がるからね」

Aさん「なるほど。僕からは、車間距離をしっかりとるということだね。高速道路では、時速を距離に置き換えた数字、時速100㎞であれば100m、時速80㎞であれば80mが必要な車間距離の目安とされている。車間距離確認区間などを利用して、必要な車間距離が確保されているかどうかをしっかり確認してほしいな」

●トラックに挟まれた乗用車は見落としやすい

Bさん「その通りだね。スピードを抑えて車間距離をとることは、高速道路での安全運転の基本だね。あと、車間距離をとることについては、他の場面でも気をつけていることがあるんだ」

Aさん「どんな場面なの」

Bさん「トラックに追従している時、なにかのはずみで、自車と前車のトラックの間に乗用車が入ってしまうような場面だよ。前方のトラックの方に視線が集中してしまうと、直前の車を見落として、追突してしまう危険がある。普段からそうならないよう運転しているけれど、トラックの間に乗用車が入ってしまった時は、意識して車間距離を大きくとるようにしているよ」

Aさん「なるほど。一般のドライバーも、トラックに挟まれた状態では追突の危険が増すことを理解して、そのような場面にならないように運転してほしいね」

Bさん「そうだね。あと、高速道路ではトンネルが多い。トンネルでの事故は重大事故に繋がり、被害も大きくなりやすいけれど、Aさんはどんなことに気をつけているの」

●トンネルでは一層、慎重な運転を

Aさん「そうだな。高速道路でトンネルに入ると急激に視力が低下する。前車がいる時は前車が減速することも考えられるから、トンネル手前で確実に減速するよう心がけているよ。ほかにも交通量が多い場合は、トンネル内が渋滞していることがあるから、情報板を見逃さないようにしているし、定期的にカーラジオで情報収集しているよ」

Bさん「さすがAさん。あと付け加えると、トンネルの入口では晴れていたのに、出口では雨が降っているというように、入口と出口で天候が変わっていることがよくある。だから、出口に近づいたら天候が変わることを予測して、注意深く走行するようにしているよ」

Aさん「トンネル出口は横風の影響も受けやすく、特にふらつきやすいから、慎重に運転することは大切だね」

Bさん「そうだね」

Aさん「それと、例年これからの時期は大型車の車輪脱落事故が多発しているので、運転前の点検整備はしっかり行っておこう。さらに、積荷の落下は事故に繋がるので、出発前はもちろん、休憩の際もしっかり固縛ができているか確認することも忘れずにね」

国交省
令和3年度「『ホワイト物流』推進運動セミナー」
10月よりオンラインセミナーにて開催（全6回）

国土交通省では、「ホワイト物流」推進運動のさらなる推進のため、10月から来年3月にかけて「『ホワイト物流』推進運動セミナー」を開催します。

同セミナーでは、同運動に取り組んでいる事業者が、各種取組事例について紹介します。

■開催日程・セミナープログラム
・第2回：11月10日㈬　13:00～15:55
・「ホワイト物流」推進運動の紹介（動画）
・最近の物流政策について（仮）（講師：国土交通省自動車局貨物課）
・物流効率化への取組み～荷主だからできること、取り組んで欲しいこと～（講師：㈱富士通総研）
・検品レスの拡大による物流効率化の推進（講師：加藤産業㈱）
・自動化・省人化への取組みと“はこぶ”プラットフォームの創造（講師：トランコム㈱）

※下線の内容は、全講演共通。
なお、第3回以降については順次本紙にて内容をお知らせします。

■参加申し込み
セミナーは事前申込制で参加無料です。申し込みは、「『ホワイト物流』推進運動セミナー参加申し込みフォーム」（二次元コード）からオンラインで行うことができます。

ニュース・ターミナル（官公庁ニュース等）

小学校等の臨時休業に伴い有給休暇を取得した労働者の賃金を助成
厚労省　小学校休業等対応助成金

厚生労働省は9月30日より、小学校休業等対応助成金の申請受付等を開始したと発表した。

これは、新型コロナウイルス感染症に係る小学校等の臨時休業等により、仕事を休まざるを得ない労働者（保護者）を支援するために実施されるもの。

支給対象者は、子どもの世話を保護者として行うことが必要となった労働者に対し、有給（賃金全額支給）の休暇（労働基準法上の年次有給休暇を除く）を取得させた事業主。労働者を雇用する事業主に対して、休暇中に保護者に支払った賃金相当額の10分の10を支給する（上限額あり）。

詳細は、厚労省ホームページを参照のこと。

高速道路の長大橋梁・トンネルに区画柵を試行設置
正面衝突事故防止対策として

東日本高速道路㈱、中日本高速道路㈱、西日本高速道路㈱の高速道路3社は10月6日、暫定2車線の高速道路の一部区間で、区画柵の試行設置を行うと発表した。

高速道路3社では、重大事故に繋がりやすい暫定2車線区間での高速道路の正面衝突事故防止対策として、ラバーポールに代えて区画柵の設置・検証を行っている。また、平成30年に国土交通省が公表した「暫定二車線の高速道路のワイヤロープ設置方針について」等をもとに、土工部、中小橋梁（橋梁延長50メートル未満の橋梁）ではワイヤロープを本格設置しており、令和4年度内の概成を目指している。

長大橋梁（同50メートル以上の橋梁）およびトンネルについては、今年6月8日に開催された国交省第5回「高速道路の正面衝突事故防止対策に関する技術検討委員会」（委員長：桑原雅夫東北大学大学院情報科学研究科教授）を踏まえ、センターパイプ、センターブロック（写真）を試行的に設置することを決定。表の6か所で、試行設置を実施する。

表　区画柵試行設置箇所

道路名	設置区間	設置箇所	区画柵	延長※	設置予定時期
E5　道央自動車道	森 IC ～落部 IC	カド川橋	センターパイプ	195m	10月中旬～11月上旬
		落部川橋	センターブロック	240m	10月中旬～11月上旬
C3　東海環状自動車道	美濃加茂 IC ～富加関 IC	栃洞トンネル	センターブロック	188m	11月上旬～11月中旬
E52 中部横断自動車道	新清水 JCT ～富沢 IC	福士川第三橋	センターパイプ	55m	11月中旬～11月下旬
E2　山陽自動車道宇部下関線	宇部 JCT ～宇部 IC	奥堤橋	センターブロック	97m	11月上旬
E10　東九州自動車道	中津 IC ～宇佐 IC	今仁トンネル	センターパイプ	174m	11月上旬～11月中旬

※　構造物延長であり、実際に設置する延長とは異なる。（IC＝インターチェンジ、JCT＝ジャンクション）

■　センターパイプ、センターブロックの特徴

センターパイプ	センターブロック
	
連続性を担保した2本のビーム（丸型鋼管）によって構成される鋼製補強体を連結させ、アンカーボルトにて固定する構造	鉄筋コンクリート製の壁部材を、継ぎ手により縦断方向に連結して一体性を持たせ、鋼板を介して摩擦力により抵抗し、舗装面に設置する構造

11月に「危険物運搬車両に対する指導取締り」実施
事故の未然防止を呼びかけ

高圧ガス地域防災協議会連合会は10月13日、全日本トラック協会に対し、危険物運搬車両に対する指導取締りの実施に関する要請を行った。

ひとたび危険物運搬車両による事故が発生すれば、国民の生命、身体および財産に重大な危害を及ぼすおそれがあるほか、交通遮断による経済活動の停滞等、社会生活に多大な影響を及ぼすこととなる。そこで、警察庁では、危険物運搬車両による事故の未然防止と危険物取扱者の遵法意識の高揚を図るため、11月1日㈪～30日㈫までの1か月間にわたり、危険物運搬車両に対する指導取締りを実施する。

重点対象は、消防危険物、高圧ガス、毒劇物、火薬類および届出対象病原体等を運搬している車両。同期間にわたって、①危険物運搬上の保安基準違反に対する指導取締り、②車両の安全運行に関する道路交通法等違反に対する指導取締り、③車両通行道路の制限違反に対する指導取締り、④イエローカード携帯の指導――を重点に指導取締りを行う。

同連合会では、法令違反車両が通行することのないよう、全ト協会員事業者に対して呼びかけている。

高速道路3社では、今後正面衝突事故防止対策としての有効性、適用性の検証を行い、引き続き交通安全対策に取り組むとしている。

ニュース・ターミナル（官公庁ニュース等）

国交省

国土交通大臣に斉藤鉄夫氏

10月4日に岸田内閣が発足

10月4日に岸田内閣が発足し、国土交通大臣には斉藤鉄夫氏（公明党・衆議院中国ブロック）が就任した（関連1面）。

また、トラック運送業界に関係の深い省庁の大臣では、厚生労働大臣に後藤茂之氏（自由民主党・衆議院長野4区）、経済産業大臣に萩生田光一氏（同・衆議院東京24区）、環境大臣に山口壮氏（同・衆議院兵庫12区）、国家公安委員会委員長に二之湯智氏（同・参議院京都選挙区）が就任した。


斉藤　鉄夫
国土交通大臣


渡辺　猛之
副大臣


中山　展宏
副大臣


泉田　裕彦
大臣政務官


加藤　鮎子
大臣政務官


木村　次郎
大臣政務官

（国土交通大臣・略歴）

▽斉藤鉄夫（さいとう・てつお）氏

昭和27年生まれ、島根県出身。東京工業大学大学院理工学研究科応用物理学専攻修士課程修了。清水建設勤務を経て、平成5年、旧広島1区から衆議院議員初当選。環境大臣などを歴任。公明党副代表。69歳。

国土交通副大臣に
渡辺氏と中山氏

岸田内閣副大臣名簿・大臣政務官名簿が10月6日に発表された。

国土交通副大臣には、渡辺猛之氏（同・参議院岐阜選挙区）と中山展宏氏（同・衆議院南関東ブロック）が就任した。

国土交通大臣政務官には
加藤、泉田、木村の3氏

また、国土交通大臣政務官には、加藤鮎子氏（同・衆議院山形3区）、泉田裕彦氏（同・衆議院新潟5区）、木村次郎氏（同・衆議院青森3区）が就任した。

（国土交通副大臣略歴）

▽渡辺猛之（わたなべ・たけゆき）氏

昭和43年生まれ、岐阜県出身。名古屋大学経済学部卒業。平成22年、参議院議員初当選。参議院筆頭副幹事長などを歴任。53歳。

▽中山展宏（なかやま・のぶひろ）氏

昭和43年生まれ、兵庫県出身。青山学院大学理工学部経営工学科卒業。平成24年、衆議院議員初当選。外務大臣政務官などを歴任。53歳。

（国土交通大臣政務官略歴）

▽加藤鮎子（かとう・あゆこ）氏

昭和54年生まれ、山形県出身。コロンビア大学院修了。平成26年、衆議院議員初当選。環境大臣政務官などを歴任。42歳。

▽泉田裕彦（いずみだ・ひろひこ）氏

昭和37年生まれ、新潟県出身。京都大学法学部卒業。新潟県知事を3期務めた後、平成29年、衆議院議員初当選。59歳。

▽木村次郎（きむら・じろう）氏

昭和42年生まれ、青森県出身。中央大学法学部法律学科卒業。平成29年、衆議院議員初当選。衆議院議院運営委員会委員などを歴任。53歳。

厚労省 中企庁 公取委

「しわ寄せ」防止へ取り組み強化呼びかけ

11月にキャンペーン展開

厚生労働省・中小企業庁・公正取引委員会では、他の事業主との取引を行うにあたり、次の取り組みが行われるよう、社内への周知徹底を図るよう呼びかけている。

①週末発注・週初納入、終業後発注・翌朝納入等の短納期発注を抑制し、納期の適正化を図ること

②発注内容の頻繁な変更を抑制すること

③発注の平準化、発注内容の明確化その他の発注方法の改善を図ること



厚労省 中企庁 公取委

11月は「下請取引適正化推進月間」

オンライン講習会等開催

公正取引委員会と中小企業庁では、下請取引の一層の適正化を推進するため、毎年11月を「下請取引適正化推進月間」とし、講習会（オンラインによる非対面方式）の開催など、下請代金支払遅延等防止法（下請法）の普及・啓発に係る取り組みを集中的に行っている。

令和3年度の同月間キャンペーン標語は、「トラブルの　未然防止に　発注書面」。講習会の申し込み等の詳細については、公取委および経済産業省のホームページを参照のこと。

厚労省 中企庁 公取委

過重労働解消キャンペーン等を展開

11月は「過労死等防止啓発月間」



厚生労働省では、11月を「過労死等防止啓発月間」（写真）と定め、過労死等をなくすためにシンポジウムやキャンペーンなどの取り組みを実施する。

同月間は、「過労死等防止対策推進法」に基づくもので、過労死等を防止することの重要性について国民の自覚を深めるために実施されている。

月間中は、各都道府県において「過労死等防止対策推進シンポジウム」を開催するほか、「過重労働解消キャンペーン」として長時間労働の削減や賃金不払残業の解消などに向けた重点的な監督指導やセミナーの実施、また11月6日㈯には、過重労働等に関する相談を無料で受け付ける「過重労働解消相談ダイヤル」（フリーダイヤル☎0120・794・713、9時～17時まで）を開設する。

厚労省 中企庁 公取委

運送事業者などによる「連携事業継続力強化計画」への取り組みを紹介

中小企業「強靭化」シンポジウム

（独）中小企業基盤整備機構（中小機構）では10月27日㈬に、「令和3年度　中小企業『強靭化』シンポジウム」をオンラインライブ配信にて開催する。

同シンポジウムは、予測不能な大災害や感染症等が発生した場合に、中小企業が経営を強靭化することで事業継続に繋げていく「事業継続力強化計画認定制度」（**9月15日号に既報**）の重要性等を啓発普及するために実施するもの。

今回は、連携事業継続力強化計画を策定し、運送事業者など複数の事業者で連携を図り、事業活動を継続する能力の強化を図っている4人の経営者によるパネルディスカッションなどが予定されている。

開催日時は10月27日㈬13時30分～15時30分。参加費用は無料だが、事前登録が必要。詳細は、中小機構ホームページを参照のこと。

経産省 国交省

2040年の物流のあり方を探る「フィジカルインターネット実現会議」を開催

経済産業省と国土交通省は10月6日、第1回「フィジカルインターネット実現会議」をオンライン開催した。

電子商取引の増加や、人口減少に伴う労働力不足の深刻化等により、物流における需要と供給のバランスが崩れつつあることから、物流機能の維持が困難となり、物流が企業や経済全体の成長制約となる恐れが出ている。こうした事態を回避するために、インターネット通信の考え方を物流に適用し、物流効率化を図ろうとする「フィジカルインターネット」への取り組みが、諸外国で進んでいる。

同会議では、2040年を目標とした物流のあるべき将来像として、我が国におけるフィジカルインターネットの実現に向けたロードマップを策定していく。

第1回目となる今回の会議では、経産省と国交省の担当者が、フィジカルインターネットの考え方や「総合物流施策大綱」の内容について説明。その後、出席委員がロードマップ策定に向けて議論を進めた。

経産省と国交省では、同会議を今後5回程度開催し、年度内に取りまとめを行う方針。

遠隔点呼・自動点呼の実証実験進捗状況について説明

第2回「運行管理高度化検討会」

国土交通省は9月28日、令和3年度第2回「運行管理高度化検討会」（座長・寺田一薫東京海洋大学大学院流通情報工学部門教授）を開催した。

国交省では、今年3月に同検討会を新たに立ち上げ、遠隔点呼（IT点呼）の対象拡大に向けた機器の性能要件や、自動点呼の導入に向けた点呼支援機器の認定制度等、運行管理の高度化に向けた制度に関する検討を進めている。

遠隔点呼の対象拡大については、点呼に必要な運転者の情報の提供が可能な高度な点呼機器を使用することを条件に、他営業所の運転者に対する遠隔点呼を認めることについて検討している。今回の会議では、トラック運送事業者2社を含む7社で実施している実証実験の進捗状況について説明。その上で、制度化に向けた機器要件等の取りまとめ方針として、点呼の確実性を担保するため、遠隔点呼に使用する機器・システムが満たすべき要件、施設・環境要件および運営上の遵守事項等について取りまとめ、実際の運用状況をみながら内容の更新を検討していくとしている。

また、自動点呼については、点呼支援機器が点呼における確認、指示項目の一部または全てを代替できるよう、機器の要件の検討を進めている。今回の会議では、終業点呼に限定してトラック運送事業者10社を含む19社で実施している自動点呼の実証実験（1次期間〔運行管理者の立ち会いあり〕）の進捗状況について説明。引き続き、10月～11月にかけて、実証実験（2次期間〔運行管理者の立ち会いなし〕）を実施していくことなどが報告された。

申請の際に住民票など確認書類の準備を

運行管理者資格者証に係る旧姓使用の取扱い

国土交通省は9月29日、自動車局安全政策課長名で、全日本トラック協会に対して、事務連絡「運行管理者資格者証に係る旧姓使用の取扱いについて」を発出した。

貨物自動車運送事業輸送安全規則（以下、安全規則）第25条（資格者証の様式及び交付）、第26条（資格者証の訂正）もしくは第27条（資格者証の再交付）による申請の際に旧姓の利用を希望する場合は、安全規則第2号様式もしくは第3号様式に旧姓が用いられた氏名を記載し、住民票や個人番号カードの写しなどにより確認できるようにすることで、申請様式に記載された氏名と同一の氏名が資格者証に記載される。

なお、資格者証に記載されている氏名が旧姓の人が、引き続き旧姓のみを使用することを希望する場合、安全規則第26条に基づく資格者証の訂正は不要となる。

「自動車事故対策費補助金」2次募集を開始

受付期間は11月30日まで

国土交通省では現在、令和3年度「自動車事故対策費補助金」2次募集の申請受付を行っている。

同補助金は、自動車運送事業における交通事故防止の観点から、運行管理の高度化に資する機器の導入等の取り組みを支援するために交付されるもの。実施する補助事業は別掲の通りとなっている。

申請受付場所は、最寄りの地方運輸局、地方運輸支局等となっている。受付期間は、いずれも11月30日㈫まで。

なお、申請受付期間中に申請総額が予算額に達した場合は、申請受付期間であっても申請受付は終了となる。

令和３年度事故防止対策支援推進事業において実施する補助事業

⑴運行管理の高度化に対する支援
・補助対象機器：デジタル式運行記録計および映像記録型ドライブレコーダーであって、国土交通大臣が選定したもの
・補助率：取得に対する経費の３分の１
・補助限度額（機器１台当たり）
○デジタル式運行記録計
車載器：３万円　事務所機器：10万円
○映像記録型ドライブレコーダー
車載器：２万円　カメラ：５千円　事務所機器：３万円
・１事業者当たりの上限額：80万円
⑵過労運転防止のための先進的な取組に対する支援
・補助対象機器：下記の機器であって、国土交通大臣が選定したもの
○ITを活用した遠隔地における点呼機器
○運行中における運転者の疲労状態を測定する機器
○休息期間における運転者の睡眠状態等を測定する機器
○運行中の運行管理機器
・補助率：取得に対する経費の２分の１
・補助限度額：一部の機器に１台当たりの上限あり
（詳細は国交省ホームページを参照のこと）
・１事業者当たりの上限額：80万円
⑶社内安全教育の実施に対する支援
・補助対象コンサルティング：国交大臣が認定したコンサルティングメニュー
・補助率：コンサルティング利用に対する経費の３分の１
・１事業者当たりの上限額：100万円

※運行管理の高度化および過労運転防止のための先進的な取組に対する支援の補助対象は、令和３年４月１日以降に導入したものが対象となる。

労務 Q&A　第235回

過半数代表者、ベテランにお願いしてきたが

Q 36協定の労働者代表の選出方法についてお尋ねします。弊社では長年、ベテラン社員の一人に過半数代表者をお願いしてきましたが、最近、そのような選出方法は問題であり、認められないという話を聞きました。それでは、どのように改めればよいのでしょうか。

A 使用者の意向によらない挙手、投票で選出を

【解説】労働者に時間外労働を行わせるための36協定（時間外・休日労働に関する協定）の労働者側当事者は、当該事業場に労働者の過半数で組織される労働組合がある場合はその労働組合（過半数労働組合）、ない場合は労働者の過半数を代表する者（過半数代表者）とされているところです（労働基準法第36条第1項）。

このうち、過半数代表者の選出方法については、もともと労基法施行規則第6条の2第1項の規定により、36協定を締結する者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であることとされていました。しかし、実態として過半数代表者を使用者側が指名するなどの不適切な取り扱いが多かったため、先の働き方改革関連法による労基則の改正で、新たに過半数代表者の要件として、「使用者の意向に基づき選出されたものでないこと」が追加・明記されました（労基則第6条の2第1項第2号）。

これでお分かりのように、御社の場合、選出方法は「お願い」とはいえ、まさに「使用者の意向に基づき選出されたもの」そのものであり、即刻改めなければいけません。具体的には、様式第9号（一般の36協定届）や様式第9号の2（限度時間を超える場合の特別条項付き36協定届）等の36協定の届け出様式が今年の4月1日から改められ、上記の要件を確認するためのチェックボックスが新たに設けられていますので、その内容に沿った形で過半数代表者の選任を行う必要があります。

チェックボックスは、「協定の当事者である労働組合が事業場の全ての労働者の過半数で組織する労働組合である又は協定の当事者である労働者の過半数を代表する者が事業場の全ての労働者の過半数を代表する者であること」と「労働者の過半数を代表する者が、労働基準法第41条第2号に規定する監督又は管理の地位にある者でなく、かつ、同法に規定する協定等をする者を選出することを明らかにして実施される投票、挙手等の方法による手続により選出された者であって使用者の意向に基づき選出されたものでないこと」の二つがあり、いずれも遵守されているかどうかのチェックが必要です。したがって、この二つをクリアできればよいということになります。

なお、これらの要件を満たしていないと協定はもちろん有効なものとはされませんし、仮にこれらの要件を満たしていても、チェックボックスにチェックが入っていないと、届け出の形式上の要件に適合しないものとして扱われるため、要注意です。

トラック運送事業者のための
経営のヒント

ミニ物流プラットフォームの構築

第287回

物流ジャーナリスト　森田 富士夫

「物流プラットフォーマー」という言葉をよく聞くようになってきた。一般的にはサプライチェーンに沿って川上から川下までを包括する物流プラットフォームを構築し、サプライチェーン全体の効率的な一貫物流システムを目指すものだ。

物流プラットフォーマーの多くはデジタル系のスタートアップ企業で、ファンドなどから資金を調達し、また、物流リートなど大型物流施設のデベロッパーとも提携している。人材もIT系の若い人が多く、従来の物流業界的な感覚とはかなり異なる。だが、物流現場の実態を踏まえて事業に取り組んでいる点が、以前にIT系から物流に参入しようとした企業とは違う。それらの若い人たちと接していると異次元の観があるが、斬新な発想など多くの示唆が得られる。

サプライチェーン全体を包括する物流プラットフォームが構築されると、例えば求車・求荷マッチングや動態管理、あるいは予約システムといった機能は、それ自体でのビジネス化が難しくなる。物流プラットフォームを構成する機能の一部としてビルトインされてしまうからだ。また、運送や倉庫、3PLと称している事業者も、物流プラットフォームを構成する様々な業務の一部分を受託する形になる。運送や倉庫、3PLといった業態の違いは、受託する業務の範囲の違いに過ぎない。

この新興勢力である物流プラットフォーマーに物流事業者が伍していくには、自らが物流プラットフォーマーに転身するしかない。そうしなければ物流プラットフォーマーから業務の一部を受託して遂行する事業者の1社になってしまう。そのような認識から、現在の事業会社から物流プラットフォーマーへの転身を目指す事業者も出てきた。

だが、必ずしもサプライチェーン全体をカバーする規模ではなく、自社の体力や事業ドメイン、得意分野や地域を限定した物流プラットフォームでもよい。これなら中小事業者にもできる。実際、ニッチな物流プラットフォーマーという経営戦略を打ち出す中小事業者も現れてきた。ある中小事業者は、自社の経営資源が集中しているエリアで、取り扱い荷物も特化して物流プラットフォームの構築を目指す。複数のサプライヤーがそれぞれ自家用車両で配送していた荷物を共同配送にし、さらに納品先が排出する廃棄物を収集するという、循環型のプラットフォームである。

同社は、共配によるCO₂排出削減や循環型物流による資源の有効利用などSDGs（持続可能な開発目標）への取り組みを7月から着手した。中小事業者でも自社に見合った物流プラットフォーマーへの転身は可能だ。

車輪脱落防止の4つのポイント徹底を！

「冬用タイヤへの交換」が引き金に！　国交省が「令和3年度緊急対策」の実施を通達

過去最多 131件

大型トラックの車輪脱落事故が激増中！

国土交通省は、大型車の冬用タイヤへの交換時期に、ホイール・ナット脱落等による車輪脱落事故が急増する傾向を踏まえ、大型車の冬用タイヤ交換時期に向けた車輪脱落事故防止対策として、「令和3年度緊急対策」を策定。この緊急対策の確実な実施を図るため、関係業界の協力のもと、10月1日から4年2月28日まで「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」を行っている。同キャンペーンでは、街頭での大型車のホイール・ナットの緩みの点検や、大型車ユーザーへの周知・啓発を実施するとともに、自動車運送事業者、タイヤ販売業者、自動車整備事業者等の関係業界に向けては、冬用タイヤ交換時の確実な作業実施について協力依頼を行う。また、自動車運送事業者には「大型車のホイール・ナットの緩みの総点検」の実施を求めるほか、ホイール・ナットへのマーキング等活用を推進し、日常点検においてホイール・ナットの緩みの点検を重点的に実施するよう啓発する。

なお、今号の『広報とらっく』には、同対策などを踏まえて制作されたリーフレット「大型トラックの車輪脱落事故が激増中！」を同封した。

① 大型車の車輪脱落事故の発生状況

11月最多！

冬用タイヤへの交換後に脱落が多発 特に左後輪の重点的な点検を

令和2年度の、大型車の車輪脱落事故の発生状況（表1、表2）をみると、総件数は過去最多の131件。車輪脱落事故は冬期に多く発生しており、特に冬用タイヤへの交換作業が集中する11月～12月にタイヤ交換を実施した車両の事故が多いことが分かる。同時期に車輪脱落事故が多く発生することから、適切なタイヤ交換作業・タイヤ点検の実施が求められている。

また、車輪脱落箇所は全体の約9割が左後輪であるため（表3）、特に脱落の多い左後輪については、日常から重点的に点検する必要がある。

表1　大型車のホイール・ボルト折損等による車輪脱落事故の発生件数

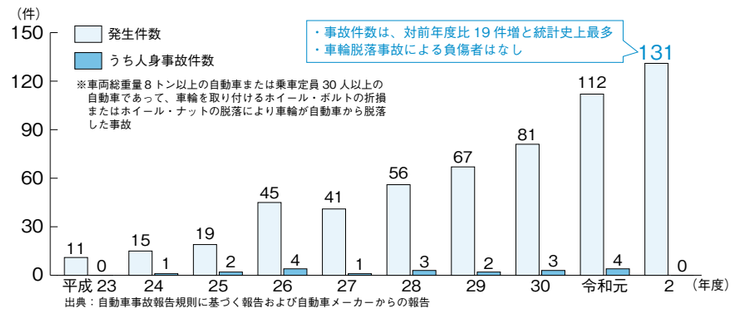


表2　車輪脱落事故発生直前の3か月以内に「タイヤ交換作業」を実施した車両の事故件数

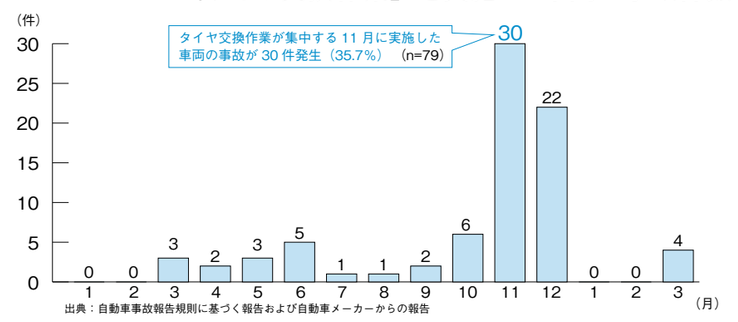


表3　事故発生車両の車輪脱落箇所　※左後輪に集中！

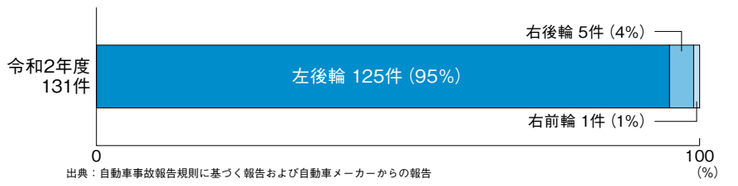
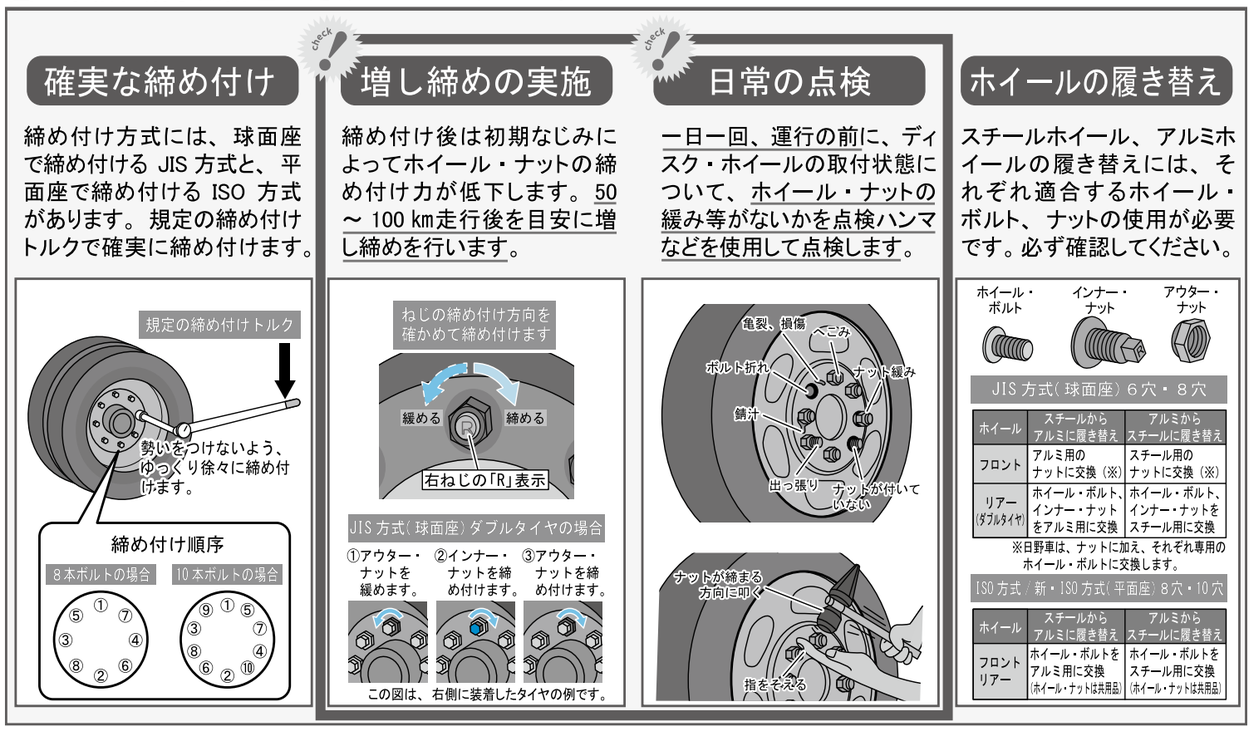


図　車輪脱落事故防止のための4つのポイント



② タイヤ交換作業・点検における注意点

4つのポイントの遵守を

確実な交換作業・点検の実施と交換後50～100キロメートル走行後は増し締めを

大型車の車輪脱落事故は、適切なタイヤ交換作業・点検を行うことで、未然に防ぐことができる。ここでは、タイヤ交換作業・点検における注意点を紹介する。

①車輪脱落事故防止のための4つのポイント

運送事業者は、「車輪脱落事故防止のための4つのポイント」（図）について、社内の整備管理者、運転者およびタイヤ交換作業者に確実に実施させること。特に、脱落の多い左後輪については重点的に点検すること。

②タイヤ交換作業時に著しく錆びたホイール・ボルト等は交換する

著しく錆びたホイール・ボルト、ナット、ディスク・ホイールでは、適正な締め付け力が得られないため、タイヤ交換作業時に点検・清掃を行っても錆が著しいディスク・ホイール、スムーズに回らないボルト、ナットは使用せず、交換すること。特に、ホイール・ボルト、ナットが新品の状態から4年以上経過している車両は、重点的に確認すること。

③タイヤ交換後は適切な増し締めの実施を

タイヤ交換後50～100キロメートル走行後を目安に、増し締めを実施する。

増し締めは、適正なトルクレンチを用いて、規定のトルクで確実に締め付けること。また、整備管理者はタイヤ交換後の増し締めの実施結果を記録し、増し締めが確実に行われていることを確認すること。

増し締めをやむを得ず車載工具で行う場合の実施方法を作業者（運転者）に指導するとともに、車載工具で増し締めを行った場合は、必ず帰庫時にトルクレンチを使用して既定のトルクで締め付けること。

④運行前点検の際にはホイール・ナットの確認を

1日1回、運行の前に実施する点検の際には、「ホイール・ナットの脱落および緩み」、「ホイール・ボルトの折損等の異常」、「ホイール・ボルト付近の錆汁（さびじる）痕跡」および「ホイール・ナットから突出しているホイール・ボルトの不揃い」の確認を確実に行うこと。

なお、ホイール・ナットの緩みの点検については、点検ハンマーによる確認手法のほか、ホイール・ナットへのマーキングを施す、または市販化されているホイールナットマーカーを活用したマーキングのずれの確認手法（同封チラシ「大型トラックの車輪脱落事故が激増中！」を参照）により、ホイール・ナットの緩みの点検を確実に実施すること。

国土交通省　日常点検の実施方法を一部見直し

ホイール・ナットへのマーキングやマーカーを活用

目視での確認が可能

国土交通省は令和3年4月、「自動車の点検及び整備に関する手引き」（平成19年国土交通省告示第317号）を改正し、ホイールナットマーカー等を活用した新たな点検方法や、車齢4年以上の車両に車輪脱落事故が多く発生していることを踏まえ、ホイール・ボルトおよびホイール・ナットの交換目安等を規定した。

日常点検の実施の方法では、ホイール・ナットへのマーキングやホイールナットマーカーを活用した、目視によるホイール・ナットおよびホイールの緩みの点検方法を明確化。

また、定期点検（3か月ごと）の実施方法については、新品から4年を経過したホイール・ボルトおよびホイール・ナットを入念に点検することを交換の目安として明記した。

さらに、整備の実施の方法については、タイヤ交換手順とタイヤ交換後の増し締めの実施手順を明確化した。



規定トルクで締めつけた後にホイール・ナットに「ホイールナットマーカー」を取り付けることで、目視での確認が可能に

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく
ISUZU

新型ギガは車両周囲の歩行者や
自転車を検知、警報を発し、安全運行を支えます。

クラス唯一 全方位検知※1　ブラインドスポットモニター（BSM）

キャブ四方に近距離ミリ波レーダーを配し、死角エリアの自動車／バイク／自転車／歩行者等を検知し、アラームと警告灯でドライバーに注意を喚起します。

＊ブラインドスポットモニターは、ワイパー使用時は作動しません。
※1.2021年10月現在、いすゞ調べ

検知エリア（イメージ）

歩行者・自転車も検知　プリクラッシュブレーキ（衝突回避支援／衝突被害軽減）

車両前方をミリ波レーダーとカメラで二重検知し、衝突の危険が高まると警報および緊急ブレーキで衝突回避や被害軽減に貢献します。

●先進安全装置は、ドライバーの安全運転を支援するシステムであり、車両の限界を超えた走行を可能にするものではありません。本装置を過信せずに、つねに安全運転を心がけてください。

もっと走れる明日のために。
NEW GIGA



ぶつからない車を目指して。

ドライバーの
死角も、
ギガは見ている。

トラックと物流ビジネスに関することは、すべてプロフェッショナルパートナーISUZUへ。いすゞ自動車（株）お客様相談センター　0120-119-113　9:00～12:00、13:00～17:00月曜～金曜（除く所定の休日）https://www.isuzu.co.jp　シートベルトをしめ、スピードを控えた安全運転を。点検整備をしっかりしましょう。

適切なタイヤ交換作業・点検の徹底を

冬期の車輪脱落事故を防ぐために

山形県トラック協会の取り組み



第2部の実技では、参加者自らが点検ハンマーを使って、ナットの正常な状態と緩んだ状態の音の違いなどを体感

東北では9月から車輪脱落事故防止キャンペーン

山形県トラック協会（熊澤貞二会長）は10月2日、県下3支部（内陸・佐藤公啓支部長、庄内・小松洋一支部長、置賜・我妻勝男支部長）で一斉に、「大型車の車輪脱落事故防止」をメインテーマに、会員研修会を開催した。

同会には、各社の実務・教育担当者を中心に整備管理者や大型ドライバーなどが出席し、座学とともに大型トラックの実車を使用して実技研修に取り組み、車両点検・整備技術と車輪脱落事故防止対策を習得した。受講後、参加者は各社に戻り、同研修会で得た知識・技術の社内展開を図ることで、「冬期の事故ゼロ」を目指す。

『広報とらっく』では、山形県トラック総合会館で行われた内陸支部主催の同研修会を取材し、同県トラ協の取り組みと、研修会で強調された「車輪脱落事故防止のポイント」などを紹介する。

県下3支部で一斉に「事故防止研修会」

タイヤ交換作業集中期を前に　余裕をもった確実な交換作業を

研修会は2部構成で行われ、第1部は座学として「大型車の車輪脱落事故防止及び日常点検について」をテーマに、山形いすゞ自動車㈱営業本部サービス部の松田憲幸氏が解説し、第2部では同解説に基づいて大型トラック3台を使用しての実技研修とした。

研修会の冒頭、山形県トラ協の土屋利昭事務局長兼総務部長は、「本日の研修会は、大型車の事故防止に特化した研修内容。参加者の皆様にはしっかり受講いただき、本日得た知識や技術を会社に持ち帰り、社内で情報を展開し、事故撲滅意識を再高揚させていただきたい」と述べるとともに、「冬用タイヤへの交換は、作業が集中する11月を避け、余裕をもって確実な交換作業を実施し、適切に運行前点検を実施することで、車輪脱落事故を絶対に発生させないよう引き続き、取り組みをお願いしたい」という国土交通省東北運輸局山形運輸支局の澤村和則支局長のメッセージを代読、同研修会の目的を強調した。

事故原因と対策を解説　「交換後、『初期なじみ』で緩みが発生」

第1部講師の松田氏は、山形県内での車輪脱落事故の特徴についてデータを分析しながら解説。2年度の事故データによると、全発生事故43件中81・4％にあたる35件が11月～3年2月の間に発生。また、タイヤ交換後3か月以内に事故を起こしたケースは、11月に20件、12月に8件と、全体の7割近くにあたる28件がこの2か月間に集中。さらに、脱着作業の実施者はトラック運送事業者（60・5％）で、脱着作業が集中する11月を避け、余裕をもって確実な交換作業を実施し、適切な締め付け方法は「ISO方式」39件（90・7％）、「増し締めなし」が27件（62・8％）、そして脱落箇所は「左後輪」42件（97・7％）という3つの要因が占める割合が圧倒的だった。

松田氏は、これらのデータから読み取れる事故原因の特徴について、「ISO方式のホイールで、冬用タイヤへ交換して間もなく、ホイール・ナットの緩みにより左後輪で脱落事故が発生している」と分析した。

また、なぜ交換作業後にホイール・ナットが緩むのかについては、『初期なじみ』によりホイール・ナットに緩みが生じる」と紹介。初期なじみとは、ホイールなどに錆やゴミが付着しており、それらの錆やゴミが組み付けして間もなくは、走行の際に研磨され、錆やゴミが落ちることにより隙間が生じ、規定のトルクで締め付けしていてもナットが緩んでしまうという現象。これを少なくするためにも、「ホイールやインロー部の錆、ゴミの確認と清掃が重要である」とした。

この初期なじみは山形県の地域性にも関係するとし、冬期に道路上に融雪剤（塩化カルシウム等）が多く散布されることにより、ホイールなどに錆がより多く発生しやすいことも一因とした。

さらに、増し締めの必要性については、脱輪事故車の6割以上が増し締めを実施しておらず、また、交換後1か月以内に50～100キロメートル走行後に増し締めをしないと初期なじみにより緩んでしまい、そのままにしておくと「緩みの限界」を過ぎ、「脱輪に繋がる」としている。なお、増し締めを行った後もいったんは緩むが、増し締め後は緩みの限界を超えることはなく、「脱輪事故にまで至るということはない」と述べた。

脱輪事故は「左後輪」に集中　日頃から重点的に点検が必要

「左後輪」に脱落事故が多い原因については、「様々な可能性は考えられるが、決定的な原因は未だ分かっていない」としながらも、①右折時は比較的高い速度を保ったまま旋回するため、遠心力により積載荷重が左後輪に大きく働く、②左折時は低速度であるが、左後輪がほとんど回転しないため、タイヤに垂直によじれる力が働く、③道路は中心部が高いため、車両が左（路肩側）に傾き、左後輪により大きな荷重がかかる――などの推測を紹介した。また、前輪に関しては、ドライバーが異常に気が付きやすいことが脱輪事故が少ない要因と分析した。

さらに、タイヤ交換の時期については、「降雪を待つのではなく、計画的な交換が望ましい。雪が降ってからではヒューマンエラーも多い」と指摘。交換後、増し締めをする前に長距離運行に出てしまうと、ドライバーが運行先で増し締めをすることになるため、「計画的に交換、増し締め作業をした後に長距離運行に出てほしい」とアドバイスした。

また、アルミホイールなどでは、「均等なトルクで締めることが重要。均等に締め付けていないと、強く締め過ぎたところほど原因不明の緩みが生じる」と経験上から注意喚起した。

増し締め後にはインジケーター等の取付を　目視点検で緩みなどの状態が一目瞭然

松田氏は、この他にも脱輪防止のためには、①ホイール・ナット、インロー部の点検・錆落としなど清掃作業を実施し、劣化・摩耗が進んだ状態がみられた場合、早めに交換（特に車齢4年以上の車両は特に入念に）、②タイヤ交換後、50～100キロメートル走行後に規定トルクで増し締めを確実に実施することは当然だが、トルクレンチで「カチン」と音がした後に、何度も「カチン」といわせるとトルクが強過ぎるので、1回緩めてからトルクレンチで締め直すこと構えを諭した。

今年度、山形県トラ協は国交省東北運輸局と連携し、冬用タイヤへの交換作業が本格化する前の9月から「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」を展開。昨年度の重点項目「増し締めの徹底」に加え、今年度は「タイヤ交換作業における確実な清掃作業の実施」と、「摩耗・劣化が進んだ部品の交換」を重点的に周知している。

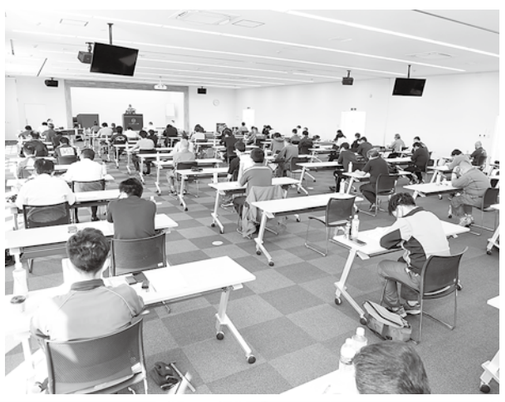
大型トラックを使用して全員が実技　ナット緩みの音の違いなど体感

第2部では、県トラ協会館の駐車場に大型トラック3台を用意し、3班に分かれて参加者全員で実技研修を受けた。講師には、第1部講師の松田氏とともにUDトラックス㈱の山形地域統括営業部、天童カスタマーセンターから複数のインストラクターが参加。

冒頭に、全日本トラック協会が推奨する「日常点検　チェックポイント21」を基に、インストラクターが実演を行う様子を見た後、それぞれの班に分かれて全員が実技に挑んだ。

今回の研修は「車輪脱落事故防止」に特化した内容であることから、ナットの正しい状態と緩んだ状態を点検ハンマーで打診して、その音の違いを体感したほか、トルクレンチの正しい使い方、インジケーターの脱着方法の実演なども行われた。

また、参加者は実技中に疑問に感じたことなどをその場でインストラクターなどに質問できるため、質問の回答を即座に取り入れて熱心に取り組む参加者の姿があった。



県下3支部で一斉に開催された「車輪脱落事故防止」をテーマにした会員研修会。会員各社の実務・教育担当者を中心に多数参加



インジケーターの正しい装着方法を説明する松田氏



トルクレンチの正しい使用法をデモンストレーション

ホイールナットインジケーターに助成
令和2年度から事業を開始

山形県トラック協会では、令和2年度から車輪脱落事故防止装置（ホイールナットインジケーター等）に対して助成を行っている。助成額は、同装置取得金額の2分の1であり、上限は1事業者当たり3万円。

また、山形県ト協では、昨年度会員5事業者に対してインジケーター実証実験を実施した。それによると、10台について、トルクレンチを使用して増し締めを行った後にインジケーターを装着。装着して1か月後にナットの緩みが確認できた車両は1台もなかった。



インジケーターの脱着実演

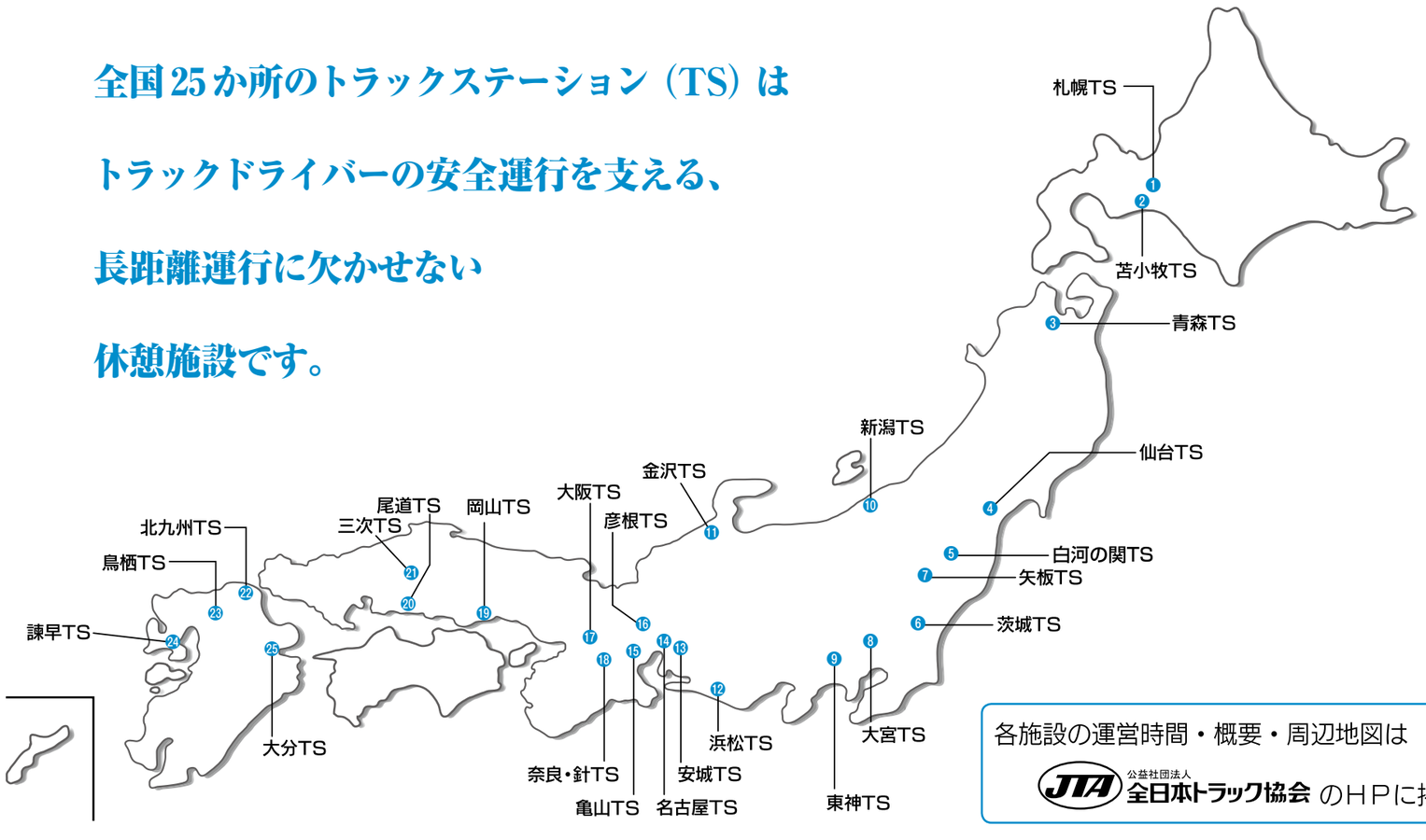
メモ　「全国ワースト1」を返上へ！　東北運輸局と連携して取り組み

大型車の車輪脱落事故が、近年、全国的に増加傾向にある中、令和元年度には、山形県内で発生した車輪脱落事故件数が「全国ワースト1」となった。

山形県トラック協会ではこうした状況を背景に、昨年度から「車輪脱落事故ゼロ」を目指して、山形県内のトラック運送事業者を挙げて取り組んでいる。

安全運行のオアシス　トラックステーション

全国25か所のトラックステーション（TS）は
トラックドライバーの安全運行を支える、
長距離運行に欠かせない
休憩施設です。



各施設の運営時間・概要・周辺地図は
公益社団法人 全日本トラック協会 のHPに掲載
携帯でもご覧いただけます

	名称	所在地	電話番号	駐車台数
1	札　幌	北海道札幌市厚別区厚別東５条 1-1-2	011-897-9101	39
2	苫小牧	北海道苫小牧市ウトナイ北 11-11-33	0144-55-7491	80
3	青　森	青森県青森市大字荒川字品川 110-1	017-729-2000 (公社)青森県トラック協会	41
4	仙　台	宮城県仙台市宮城野区苦竹 4-1-15	022-232-9336	39
5	白河の関	福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字夏針 15-1	0248-21-7167	45
6	茨　城	茨城県小美玉市西郷地字新田 1390	0299-48-3455	30
7	矢　板	栃木県矢板市乙畑 440-2	0287-48-1919	46
8	大　宮	埼玉県さいたま市西区三橋 6-699-1	048-623-6815	41
9	東　神	神奈川県大和市上草柳 588	046-261-1100	97
10	新　潟	新潟県新潟市西区山田 196-1	025-233-6961	52
11	金　沢	石川県金沢市千木町ル 21-1	076-257-2755	56
12	浜　松	静岡県浜松市東区流通元町 2-3	053-421-5311	116
13	安　城	愛知県安城市尾崎町大縄 19-1	0566-98-8823	74
14	名古屋	愛知県名古屋市港区藤前 3-601	052-303-2188	97
15	亀　山	三重県亀山市小野町桜口 586-4	0595-82-3935	82
16	彦　根	滋賀県彦根市鳥居本町字むさ満 2337-1	0749-26-0156	45
17	大　阪	大阪府寝屋川市木屋元町 20-1	072-832-2362	80
18	奈良・針	奈良県奈良市針町 487-1	0743-82-0622	60
19	岡　山	岡山県岡山市中区倉富 285-19	086-277-4055	35
20	尾　道	広島県尾道市高須町字才ケ久保 21193-3	0848-46-1882	37
21	三　次	広島県三次市西酒屋町船所 1468	0824-63-0025	30
22	北九州	福岡県北九州市小倉北区東港 1-3	093-581-5031	70
23	鳥　栖	佐賀県鳥栖市永吉町 617-1	0942-83-7035	48
24	諫　早	長崎県諫早市貝津町 1051-12	0957-26-8228	45
25	大　分	大分県大分市大字上戸次字宇土ノ口 6045-2	097-597-6233	43

※駐車台数は大型車とトレーラの台数の合計。なお、諫早TSは5台の中型車を含む。

冬期における安全運行の確保に向けて

大型車の冬用タイヤとチェーンの適切な装着　一層万全な安全対策を

国土交通省

降積雪期の「立ち往生車両」を写真撮影

撮影情報もとに輸送の安全確保対策確認へ

国土交通省は9月30日、全日本トラック協会に対して、「降積雪期における道路管理者による立ち往生車両写真の撮影等について」を事務連絡した。令和2年末から3年初めにかけては、高速道路などで大規模な車両滞留が発生、社会問題となったことを踏まえ、今後の降積雪期においては、道路管理者が立ち往生車両の情報を適切に把握するため、冬用タイヤ装着の有無等の状況を写真撮影することとした。同省では、この情報を基に、地方運輸局等が立ち往生した車両を所有するトラック運送事業者に対し、降積雪期における輸送の安全確保対策の実施状況を確認することとなる。全ト協ではこの事務連絡を受け、都道府県トラック協会を通じて傘下事業者に対し同内容の周知を行った。

今回の事務連絡は、相次ぐ降積雪期における車両滞留事案を防ぐために措置されたもので、トラック運送事業者は、冬用タイヤの装着やチェーンの携行・装着など、輸送の安全確保のための措置について、より一層万全を期すことが求められる。

なお、今号の『広報とらっく』には、国交省制作のリーフレット「雪道での立ち往生に注意！―大型車の冬用タイヤとチェーンについて―」（写真㊧）を同封している。

国交省では道路管理者　レーラをけん引している　方の滞留状態、③駆動輪の協力を得て、今後、立　場合はトレーラのナンバ　のタイヤ側面（可能な限ち往生車両について、①　ープレートも）、②前方　り大きく）、④駆動輪の前面ナンバープレート（ト　から当該車両も含めた後　タイヤトレッド面（可能な限り大きく）、⑤後方から当該車両も含めた前方の状況――について写真を道路管理者が撮影するとしており、この撮影された立ち往生車両の情報が地方運輸局等と共有される。

同省では降積雪期の対応として、令和3年1月に通達「大雪に対する緊急発表を踏まえた輸送の安全確保について」を発出。同通達では降積雪期において、輸送の安全を確保するための措置を講じずに運行し、貨物自動車運送事業輸送安全規則第11条（異常気象時等における措置）の規定に違反したことが確認された場合には行政処分を行う旨が明記されていた。

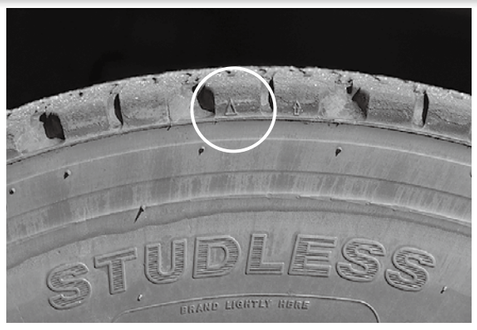
このため、全日本トラック協会でも、傘下会員事業者に対して、①大雪および暴風雪に備え、最新の気象情報や交通情報等に留意するとともに、冬用タイヤの装着、チェーンの携行および早めの装着の徹底等、輸送の安全確保に万全を期すこと、②冬用タイヤの確認に当たっては、摩耗劣化の状況等を確認すること――を周知した。

今後、降積雪期に立ち往生した場合、写真撮影された情報を基に行政処分が行われる事態も考えられることから、物流を支えるトラック運送事業者として、一層、安全運行の確保に万全を期す必要がある。

積雪・凍結路では必ず適切な冬用タイヤの装着とチェーンの携行・早めの装着を！

▼国土交通省『雪道での立ち往生に注意！―大型車の冬用タイヤとチェーンについて―』（写真）、『冬用タイヤの溝深さに注意！―大型車の冬用タイヤに関する使用上の注意点―』からポイントを解説





スタッドレスタイヤ表記とプラットホーム位置を示す矢印（〇部分）

冬用タイヤを全車輪に

積雪・凍結はスタッドレスタイヤのこと。

路面を覆うほどの過酷な積雪路・凍結路では、スタッドレス表記（国内表記）または、スノーフレークマーク（国際表記）が表示されている冬用タイヤを全車輪に装着すること。

溝の深さが50％以上残っているタイヤしか冬用タイヤとしては使用ができない。必ず、「プラットホーム」で溝の深さが50％以上残っていることを確認する。プラットホームはタイヤサイド部にある矢印（△）の示すトレッド（接地）面の溝内に4か所あるので、定期的に点検を（※一部海外メーカー品は除く）。

冬用タイヤの使用限度

溝深さ50％以下は不可

チェーン効果発揮のためサイズや締め方を適切に

チェーンを駆動輪に装着すると、冬用タイヤよりも積雪・凍結路での発進・登坂性能が向上する。しかし、チェーンのサイズや締め方が不適切な場合、タイヤとの間で滑りが生じ、効果が得られないことがある。

チェーンの携行と降雪時での早めの装着

大雪警報が発表されるなど、相当量の積雪が見込まれる場合等にはチェーンを携行する。

また、降雪時には、立ち往生する前に、早めのチェーン装着を心掛ける。立ち往生した後の装着は極めて困難。

冬用タイヤ等の性能限界　深い新雪路は走行困難

冬用タイヤとチェーンに関してはいずれも性能に限界があり、万能ではない。

例えば、車両のバンパーに接触するような新雪の深い積雪路では、走行が困難となる。このため、運行間に道路・気象情報を確認して、運行の可否や経路の検討が必要となる。

この冬は西日本・日本海側で降雪量が多くなる可能性も

気象庁は9月24日、今年12月から来年2月にかけての天候の見通しを発表した。

それによると、この時期は、西日本を中心に冬型の気圧配置となる可能性がやや強く、寒気の影響を受けやすくなると予測。そのため、西日本の日本海側では降雪量が平年並みか多くなるとしている。

一方で、北日本・東日本の日本海側ではほぼ平年並みとなると予測しているが、低気圧の影響を受けやすい時期があるため、注意が必要である。

なお、気象庁では、冬の天候に影響の大きい北極振動の予想が難しく、現時点では考慮できていないことから、常に最新の1か月予報等を確認し、降雪期への備えを十分に行うよう呼びかけている。

12月～2月の天候の見込み　気象庁

タイヤチェーン装着時の注意

①事前に確認を！

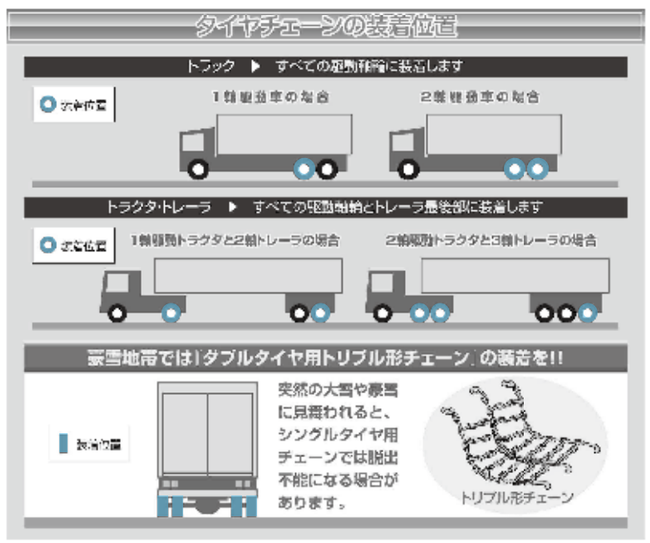
必ずタイヤのサイズにあったものを選び、説明書に従い事前に装着の練習をしておくと、実際の冬道での装着時にスムーズに作業ができます。

②確実な装着と十分な点検の実施を！

チェーンの緩み、ゴムバンド等のフックへの掛け忘れはチェーン脱落の原因となります。また、チェーンの摩耗・損傷はチェーン切れの原因となります。

③出発前に装着の練習を！

チェーンは、突然雪が降ってもあわてないように、寒い中でスムーズに作業をするために事前に装着の練習をしておきましょう。



〔参考〕国土交通省「チェーン規制Q＆A」

大雪特別警報や大雪に対する緊急発表が行われるような場合は、チェーン規制が実施される場合があります。チェーン規制の詳細は国土交通省ホームページをご覧ください。

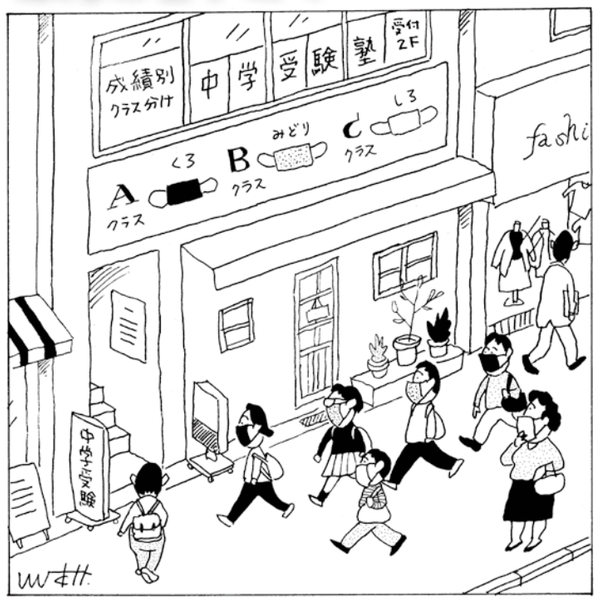
降積雪期における輸送の安全確保の再徹底を!

◇気象情報（大雪や雪崩、暴風雪等に関する警報・注意報を含む）や道路における降雪状況等を適時に把握し、以下の対策を講ずることにより、輸送の安全確保に万全を期すこと。
①災害発生時の社内における連絡体制を改めて確認すること。
②積雪・凍結等の気象および道路状況により、早期にスタッドレスタイヤおよびタイヤチェーンを装着するよう徹底を図ること。
③点呼時等において、運行経路の道路情報、道路規制情報、気象情報に基づき、乗務員に適切な指示を行うこと。
④積雪・凍結時における要注意箇所の把握に努めること。
⑤気象状況が急変し、安全運行が確保できないおそれがある場合は、宅配便の集配荷の休止など、サービスの停止に係る情報については、ホームページ等を通じて利用者に分かりやすく情報提供すること。
⑥乗務員に対して、スリップの要因となる急発進、急加速、急制動、急ハンドルを行わないよう指導するとともに、道路状況、気象状況に応じた安全速度の遵守、車間距離の確保について指導を徹底すること。
◇スタッドレスタイヤへの交換などのタイヤ交換時に、ホイール・ボルトの誤組防止、締付トルクの管理、交換作業後の増し締め等を確実に行うこと。
（令和2年12月4日付、国土交通省通達より）

運送DXなら
TUMIX
累計登録1,000ユーザー
【運送業専用】業務改善システム
◆TUMIX 配車計画◆
入力一回。業務と配車を“一元管理”
経営分析、配車共有、エクセル取込、売払入金管理、多数の帳票出力管理、TUMIXコンプラと自動連携！
￥16,800～/月
◆TUMIX コンプラ◆
コンプラも勤怠も労務も“一元管理”
デジタコ連携、コンプラ運行強化、打刻精度向上、残業平準化、手当管理、TUMIX配車計画と自動連携！
（予）￥15,000～/月
Suzuyo Group　株式会社TUMIX（ツミックス）　お問合せ 054-653-1122

スパイラルフィルターで燃費は下げられる!!
「工場直売 だから安い!!」
「長持ち２倍 だからすごい!!」
吸気効率向上 → 出力向上 → 燃費削減
大手純正クオリティーを
ダイレクト販売
建機大手純正のメーカー工場直売品です。オイルエアー・燃料フィルタ全て1個からのご注文OKです
全車種対応
翌日納品
10万km走行も馬力が落ちない。＝燃費低減!!
一般品では7万kmでろ材のヨリが起こり出力低下!!
低燃費の秘密は…
フィルターの固定角度と間隔
特殊な密着防止技術でフィルター性能を100%引き出すことに成功。ロングライフによるコストダウンと吸気効率UPによる燃費削減効果で快適な運転を提供します。
愛車と燃費を守るため、研究を続けて70年
P.EYE ピーコックエレメント製造株式会社
Peacock Element Manufacturing Co.,ltd.
TEL 03-3458-0891 FAX 03-3472-0095
info@pgf-japan.com
http://www.pgf-japan.com
スパイラルフィルター　検索
本社：東京都品川区南品川4-15-4　国内拠点：札幌/苫小牧/仙台/北関東/長野/静岡/名古屋/大阪/神戸/九州　研究所：掛川工場　海外拠点：PGF深圳

ほんのヒトコマ　[第95回]　前川しんすけ



アフター・コロナ……「マスクの色で分けてるのね……」

法令○×クイズ　～点検整備編～

【解答】 2面に問題

❶ ×（自動車点検基準別表第一）タイヤの空気圧の点検は、1日1回、運行前に行わなければならないが、タイヤの溝の深さの点検は、当該自動車の走行距離、運行時の状況等から判断した適切な時期に行うことで足りる。

❷ ×（自動車点検基準別表第一）ディスク・ホイールの取付状態の点検が義務づけられているのは、車両総重量8トン以上又は乗車定員30人以上の自動車である。

❸ ○（自動車点検基準別表第一）エンジンオイルの量の点検については、当該自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に行うことで足りる。

❹ ×（道路運送車両法第48条第1号）自動車運送事業の用に供する自動車については、3か月ごとに定期点検整備をしなければならない。

❺ ×（道路運送車両法第61条第1項、2項）事業用貨物自動車の自動車検査証の有効期間は、車両総重量8トン以上のものについては、初回は1年、2回目以降は1年である。

第53回 全国トラックドライバー・コンテスト出場選手一覧

交通事故ゼロを目指して
10月23日～25日

全日本トラック協会は、10月23日から25日にかけて「第53回全国トラックドライバー・コンテスト」を開催する（関連2面）。

同コンテストは、事業用トラックドライバーに求められる高度な運転技能と、関係法令および車両構造等に係る専門的な知識を競うもの。都道府県トラック協会主催のコンテストで選ばれた、総勢109人のトラックドライバーが腕を競い合う。

なお、10月23日(土)・24日(日)に行われる実科競技・学科競技（会場：自動車安全運転センター安全運転中央研修所）は「完全無観客開催」となるため、選手の関係者（家族、勤務先などの付き添い、トラック協会職員等）、報道、一般来場者の来場は不可となる。





「第51回全国トラックドライバー・コンテスト」の様子

（令和３年10月13日現在）

4トン部門（35人）

都道府県名	氏名	所属事業所名
北海道	坂野　隆明	日本通運㈱北海道警送支店札幌警送事業所
青森県	栁沢　忍	㈱共同物流サービス本社営業所
岩手県	髙橋　和幸	F-LINE㈱盛岡低温物流センター
宮城県	大西　敦	仙台日通運輸㈱本社営業所
秋田県	森合　康喜	日本通運㈱東北警送支店秋田警送事業所
山形県	稲毛　滋	日本通運㈱山形支店
福島県	加藤　友也	関東西濃運輸㈱いわき支店
茨城県	川田　進	㈱ナルキュウ茨城営業所
栃木県	和氣　隆浩	㈲宮本運輸本社営業所
群馬県	立木　豊	関東西濃運輸㈱渋川支店
埼玉県	梅本　裕樹	日本通運㈱北関東警送支店北関東警送事業所埼玉センター
千葉県	白土　浩孝	日通船橋運輸㈱本社営業所
東京都	阿部　寛之	日本通運㈱関東警送支店東京警送事業所
神奈川県	小山　晃	㈱ハナワトランスポート横浜営業所
山梨県	髙山　嵩史	日本郵便輸送㈱南関東支社甲府営業所
新潟県	田中　誠	センコー㈱埼玉主管支店新潟営業所
福井県	内山　正道	北陸トラック運送㈱本社営業所
岐阜県	加藤　晃	日本通運㈱中部警送支店岐阜警送事業所
静岡県	小池　知弘	㈱ナルキュウ静岡営業所
愛知県	脇田　直幸	日本通運㈱名古屋フォワーディング支店
京都府	福﨑　彰彦	㈱日立物流西日本大山崎AE営業所
大阪府	寺岡　幸治	日本郵便輸送㈱近畿支社大阪営業所
兵庫県	金中　政英	㈱新宮運送姫路営業所
和歌山県	吉村健太郎	日本通運㈱和歌山支店海南事業所営業課
岡山県	小見山航輝	両備トランスポート㈱岡山西物流センター
広島県	田中　伸也	㈱日立物流西日本広島機工営業所
山口県	政野　健一	日本通運㈱下関支店
香川県	島村　相美	㈱日立物流西日本四国AE営業所
愛媛県	眞見　勇夫	宇和島自動車運送㈱営業本部
福岡県	中村　誠	F-LINE㈱福岡第一物流センター
長崎県	坂本　光	幸運トラック㈱波佐見営業所
熊本県	村上　優	日通熊本トラック㈱本社営業所
大分県	上村　進	日本郵便輸送㈱大分営業所
鹿児島県	丸野　彰之	九州西濃運輸㈱枕崎営業所
沖縄県	知念　司	㈲大成本社営業所

11トン部門（35人）

都道府県名	氏名	所属事業所名
北海道	藤田　雅之	旭川郵便輸送㈱旭川営業所
岩手県	及川　貴史	白金運輸㈱本社営業所
宮城県	小松　利光	㈱日立物流東日本東北輸送・機工営業所
秋田県	大野　優太	日通秋田運輸㈱本社営業所
山形県	佐藤　光	山形陸運㈱山形南営業所
福島県	鈴木　悠記	日通郡山運輸㈱本社営業所
茨城県	生田目　光	㈱日立物流東日本土浦営業部土浦輸送営業所
栃木県	永田　達二	関東西濃運輸㈱佐野支店
群馬県	関　英夫	日本郵便輸送㈱関東支社群馬営業所
埼玉県	山本　幸路	関東西濃運輸㈱久喜支店
千葉県	鈴木　彰太	日本通運㈱千葉南支店
東京都	桑田　修平	中央運輸興業㈱本社
神奈川県	岩﨑　英一	㈱ナルキュウ神奈川営業所
山梨県	飯寄　隆夫	日本通運㈱関東甲信越ブロックロジスティックスビジネスユニット山梨支店キッツ課
新潟県	吉田　昇	中越運送㈱燕ロジスティクスセンター
石川県	葭原　輝洋	日本郵便輸送㈱北陸支社金沢営業所
福井県	伏里　友成	日通トランスポート㈱福井支店
岐阜県	山口　雄治	ダイオーロジスティクス㈱中部支店
静岡県	大坪　裕明	日本通運㈱静岡支店焼津事業所大井川営業課
愛知県	武田　栄二	中京陸運㈱弥富営業所
京都府	衣川　雄登	日本郵便輸送㈱近畿支社京都営業所
大阪府	小栗　正寛	日本通運㈱大阪北支店茨木事業所ロジスティクス課
兵庫県	岡田　聡	日本通運㈱神戸支店加古川事業所営業課
奈良県	松本　貴之	ヤマトマルチチャーター㈱奈良営業所
岡山県	一岩　雅人	岡山スイキュウ㈱瀬戸内物流センター
広島県	疋田　崇郁	広島ロータリー輸送㈱
山口県	小谷　晃	㈱日立物流西日本笠戸営業所
愛媛県	西山　修	日本郵便輸送㈱四国支社松山営業所
福岡県	杉本　博和	日鉄物流八幡㈱構外物流部高圧ガス輸送課
佐賀県	徳永　操一	日本通運㈱久留米支店鳥栖営業支店
熊本県	真佐喜龍星	南九州センコー㈱八代営業所
大分県	松本　育雄	九州西濃運輸㈱北大分営業所
宮崎県	野呂　卓司	日本通運㈱都城支店総合物流センター
鹿児島県	中原　拓郎	日本通運㈱鹿児島支店
沖縄県	宇江城昌朗	㈱東産業本社営業所

トレーラ部門（24人）

都道府県名	氏名	所属事業所名
北海道	佐々木寛人	北旺運輸㈱物流事業部
岩手県	金澤　祐樹	東北自動車輸送㈱岩手営業所
宮城県	齋藤　裕介	日本通運㈱仙台支店仙台コンテナ支店
福島県	吉田　将彦	㈱丸東いわき支店
茨城県	須藤　一也	㈱ヤマガタ本社営業所
群馬県	中澤　一稀	日本通運㈱群馬支店通運課
埼玉県	川島　徳保	日本梱包運輸倉庫㈱狭山営業所
千葉県	清田　恭平	㈱日立物流首都圏輸送営業所
東京都	澤田　繁	㈱日立物流南関東京浜輸送営業所
神奈川県	青山　道	常盤海運㈱
富山県	石畠　貴司	日産物流㈱富山支店
石川県	上野　巨樹	日本通運㈱金沢支店高柳物流事業所
愛知県	柴田　孝幸	東海西濃運輸㈱武豊支店
大阪府	笠間　守	センコー㈱大阪主管支店大阪コンテナセンター
兵庫県	谷口　主税	センコー㈱阪神主管支店西神戸車輌センター
和歌山県	種中　健蔵	鴻池運輸㈱和歌山支店物流課
香川県	山下　茂	日本通運㈱四国支店坂出事業所
愛媛県	真野　輝義	住化ロジスティクス㈱愛媛事業所運輸部輸送課
福岡県	寺屋敷優樹	日本通運㈱福岡海運支店
長崎県	田栗　和明	㈱丸野長崎物流センター
熊本県	三原　健	九州産交運輸㈱熊本コンテナセンター
宮崎県	末吉　泰祐	南九州センコー㈱えびの営業所
鹿児島県	北村　隆	丸和運送㈱鹿児島支店
沖縄県	大嵩　賢司	美崎運輸㈱本社営業所

女性部門（15人）

都道府県名	氏名	所属事業所名
北海道	塚迫　美菜	日本郵便輸送㈱北海道支社札幌営業所
宮城県	久保田めぐみ	日本郵便輸送㈱仙台営業所
福島県	間瀬まゆみ	㈱丸東いわき支店
栃木県	髙田　理奈	㈱サンコー宇都宮営業所
埼玉県	金子　雅美	SBSフレックネット㈱和光営業所
東京都	宮田　愛音	日本通運㈱関東甲信越ブロックロジスティックスビジネスユニット移転引越第1営業部
神奈川県	井上　瞳	川崎運送㈱中央営業所
愛知県	神谷　江美	鳴海急送㈱愛知営業所
京都府	廣澤　春海	日本郵便輸送㈱近畿支社京都営業所
大阪府	松本　真紀	日本郵便輸送㈱近畿支社大阪営業所
兵庫県	福島奈津子	栄進急送㈱本社営業所
岡山県	石原麻衣子	岡山スイキュウ㈱倉富物流センター
長崎県	竹下美奈子	㈲長一運送本社営業所
熊本県	田嶋　幸代	㈱ランテック熊本支店
沖縄県	宮城　若子	㈱沖食商事本社営業所

食の新旧街道を行く
―俯瞰食文化学の視点から―

フードジャーナリスト、食文化研究家
向笠 千恵子

208「鯖街道寄り道したい味④」京都市山端のぐじの若狭焼き

若狭街道（国道367号）は鯖だけでなく京へ様々な魚を運んだ。ぐじ（甘鯛）、鰈、鯛等々で、京の市場では「若狭もの」として別格だった。若狭人は塩をする、干すといった魚の下処理に秀でていて、そのうえ到着時が食べ頃になるよう計算して出荷したからだ。

往時の旅人は麦飯とろろをかっこんで旅立った。

さて、上りの若狭街道は八瀬を過ぎると高野川沿いに山端へ。この辺りは壬申の乱で大海人皇子（天武天皇）がかま風呂で傷の手当てを受けた八瀬など、歴史でおなじみの土地が多い。そのせいか、山端も鄙びた風景に味なら、ぐじの向付、若狭焼きが揃う若狭懐石がおすすめ。浜で一塩した「浜塩」のぐじを用い、向付は細造りを二杯酢とわさびで。ほどよく塩が回り、うま味が増した身はしなやかでもっちり。

若狭焼きは鱗を落とさず、遠火の強火でじっくり焼いてある。ぱりっぱりの鱗、脂をたたえた皮、ほっこりした身の対比は平八茶屋ならでは。洛中の食通が山端まで足を延ばすというのも納得だ。

この店には前述のかま風呂復刻版が和風サウナとして設置され、予約で食事客も利用できる。街道旅の癒しには最高だ。

（むかさ・ちえこ）

朝廷へ海産物を届ける御食国（みけつくに）だったし、その後も舌が肥えた都人を満足させるため、研鑽を重ねた成果である。

こんな「若狭もの」の美点を熟知するのは、左京区山端川岸町の「山ばな平八茶屋」。安土桃山時代・天正年間創業。洛中より1里だったので、はんなり感を秘めている。

そんな立地のもと、現代の平八茶屋は古風な佇まいと名庭を活かした割烹旅館になっている。とはいえ旅人をもてなす温かな姿勢は不変で、21代目当主で自ら包丁を握る園部晋吾さんの包丁も冴え、飲食の客も多い。

数々の献立から若狭の

積込先、配送先で困りごと、ありませんか。

情報ください



意見・事例として投稿していただきたい項目です。

❶ つねに出荷準備が遅れて**荷待ち時間が長い**
❷ いつも配送先で**荷待ち時間が長い**
❸ スピード違反しないと間に合わない**無理な到着時間を指定された**
❹ 交通事故渋滞や悪天候など、**やむを得ない遅延なのにペナルティを課された**
❺ 過積載になるのに積込時に**貨物量を増やされた**
❻ 手作業での積込など、契約にはない**積込作業を強要された**
❼ 契約にはない**ラベル貼り・検品などを強要された**
❽ 約束と違い荷主が**高速道路料金を負担しなかった**
❾ 予め小さなキズ程度であれば**貨物を引き取るとの取り決めがあるにもかかわらず買い取らされた**
❿ 運転が危険な**悪天候の中での配送を強要された**
⓫ 配送先で**コロナウイルス感染の差別的扱いをされた**

二次元コードを読み取って下さい。
国土交通省の投稿サイトにリンクしています。



お送りいただいた内容について、投稿者様や所属企業・団体、荷主様に問い合わせすることは絶対にありませんので、ご安心ください。

荷主等に対する困りごとの情報は
荷主名（○○株式会社など）、**具体的な場所**（○○市○○物流センターなど）、**具体的内容**（○月○日、急な荷物量の増加により過積載を強要されたなど）を右記投稿サイトにお寄せください。

国土交通省　公益社団法人 全日本トラック協会

女性の輝く現場から
トラガールのお仕事。

第31回「2トン車ドライバー（近距離配送）」浦 遥香さん（㈱ツカサ・石川県）

トラック運送業界で様々な仕事に携わる女性をとりあげるこのコーナー。第31回目は、「2トン車ドライバー（近距離配送）」のお仕事です。㈱ツカサ（石川県金沢市）の浦遥香さんが登場します。

坂池社長に訊く！

一時中断していた新卒求人を復活　若年者・女性採用に成功
「学生に選ばれる運送会社」かつ「ずっと働きたい運送会社」へ



坂池 克彦
代表取締役

当社では未経験者を中心に採用しており、19歳から70歳まで、幅広い年齢層のドライバーが活躍しています。以前は新卒求人を行っており、採用実績もあったのですが、一時行わなくなり、5年ほど前から復活させました。新卒求人を行うことによって、「数多くの職種から就職先を選ぶことのできる学生が、その中でもトラック運送業を、さらにその中でも大手事業者ではなく、中小事業者である当社を選んでくれるのか」、「学生に選ばれるに値する企業なのか」ということを試し、確認することができます。

新卒採用を復活させたものの、残念ながらずっと実績ゼロが続いていたのですが、昨年度行った求人で、短大卒の女性が事務職に、高卒の浦さんがドライバー職にと、女性新卒者2人を採用することができました。新卒採用と同様に、若者や女性がドライバーとして定着することも同じく「会社としてのバロメーター」になります。あらゆるドライバーにとって働きやすく、「この会社でずっと働いていきたい」と思ってもらえる会社でありたいと考えています。

株式会社ツカサ
［代表取締役　坂池 克彦］

本社所在地	石川県金沢市古府3-107
資本金	1,000万円
設　立	昭和63年10月5日
従業員数	67人（ドライバー55人、うち女性2人）
車両数	55台

history　「あらゆる仕事が楽しい」慎重さ・大胆さのすぐれたバランス感覚で日々成長中

女子高生が求人票と出会い運送会社に新卒入社するまで

新卒求人再開4年目となる昨年、坂池社長は金沢市内の高校から「ドライバー職を志望する女子生徒が会社見学を希望している」との連絡を受けた。当の女子生徒＝浦さんは、高校卒業後すぐに社会に出て働きたいと考えていたが、具体的に就きたい職種があるわけではなかったという。

「求人票を見ている中で、やりたくない仕事を消去していくと、最後に残った仕事、つまり『募集内容を見て、やりたくない仕事がひとつもなかった』のが、㈱ツカサの求人票でした。家族や親戚など、身近な人にトラックドライバーはおらず、求人票に出会うまで、トラックドライバーという仕事を意識したことも、興味をもったこともありませんでした。しかし求人票を見て、『この会社の仕事内容は自分の理想に合っている』と思い、会社見学を希望しました」（浦さん）

「会社見学は、トラックドライバーの仕事内容を実感してもらうために、荷役作業など具体的な仕事内容が分かるような形で実施しました。見学から帰ってきた彼女の第一声は、『とても楽しかったです！』というもので、正直驚きましたが、『これは本当に入社してくれるかもしれない』とも思いました」（坂池社長）

会社見学のあと、浦さんは、入社への意志を固めていく。

「会社見学を経て、『大型トラックやフォークリフトを運転してみたい』、『自分はこの仕事を頑張りたい』と思いました。会社見学で実際にドライバーさんがトラックやリフトを運転・操作する風景を見られたことは、就職を決める際のかなり大きな決め手になりました」（浦さん）

同社への入社面接を決めた浦さんに対し、進路指導教諭や両親からは、「事務職のほうがいいのではないか」、「本当にその会社でいいのか」という声もあったというが、「事務職だけは絶対に嫌」だったこともあり、浦さんの意志は固く、最終的には両親も「それが本当に自分のやりたい仕事なら」と背中を押してくれた。入社面接を経て、晴れて浦さんの同社への採用が決まった。

研修・免許取得・資格講習　多忙な日々の中着実に技術を習得

「当社の場合、小さな車両での輸送はバラ積みが中心になること、リフトで積み降ろしができる乗務は中型車以上になってしまうことが課題でした。検討を重ね、実際に荷物を持ってもらったりした上で、女性でも扱える重さの荷物を運ぶ現在の業務を担当してもらうことになりました」（坂池社長）

浦さんは4月に入社すると、まず新社会人研修を受講。続いて、会社の補助を利用して教習所で教習を受け、普通免許から準中型免許へとステップアップするとともに、フォークリフトの資格も取得し、さらに仕事の手順や配送ルート等の習得も同時に行うなど、多忙な日々を送った。5月には森係長による横乗り指導が開始、7月からは晴れてひとり立ちした。

「つらいと思ったことは一度もありません。仕事を覚えるのは大変でしたが、あらゆる仕事が楽しくて仕方ありませんでした。会社見学の際に『運転してみたい』と思ったリフトの資格も取得でき、今はまだあまり乗務する機会がありませんが、いずれはリーチ式・カウンター式ともに乗りこなしながら積み降ろしができるようになりたいと思っています」（浦さん）

坂池社長は浦さんを、「見た目はか細いが、中身は骨太」と評価する。

「肝が据わっていて、誰に対しても物怖じせず受け答えでき、嫌なことは嫌だとはっきり言える強さももっています。これはトラックドライバーという仕事をしていく上で重要なことで、非常に有望だなと思っています」（坂池社長）

浦さんが仕事の上で最も気を付けていることは、伝票と商品を念入りに突き合わせる「トリプルチェック」。日ごと・便ごとに商品と配送先が異なるため、誤りがないように細心の注意を払っているのだという。

「間違ってしまったこともあるのですが、そういう時は意外とマイペースに『じゃあ次はこう対応して解決しよう』と頭を切り替えて乗り切りました。一番仕事が楽しい瞬間は、大きくて重い荷物を運ぶ時です。男の人でも重いと思う荷物を持つことができた時は『よしっ！』と思います」（浦さん）

細やかなチェックを怠らない「慎重さ」と、物怖じせず、切り替えも早い「大胆さ」のバランス感覚が浦さんの大きな魅力であり、長所であるといえる。

「今冬が最大の難関」　雪国のトラックドライバーならではの課題

入社から半年が経った今、坂池社長が浦さんの今後の課題として挙げるのが、「雪道」と「モチベーション」だ。

「浦さんならこの仕事を続けていけると考えていますが、一番の難関は今年の冬だと思います。金沢は雪が降りますし、浦さんに週3回運行に出てもらっている富山は金沢より雪深く、雪道対策は必須です。しかし一般的なタイヤチェーンは非常に重量がある上に、雪がこんこんと降る中で全てのタイヤにチェーンを掛けなくてはなりません。そこで今冬に向け、女性でも扱える重さの、軽いトラック用タイヤチェーンを購入しました。浦さんにはトラック協会の研修でチェーンの掛け方等を学習してもらっていますが、あとは実践でどこまでできるかです。また、入社後しばらくは、全てが初めての経験で、何でも楽しいと感じることができますが、仕事に慣れてからも、どこまで自分のモチベーションを保ち続けていけるかということも、これからの課題だと思います。逆にいうとこれは、『当社が浦さんに試されている状況』でもあります。高校新卒者の女性ドライバーに定着してもらうために、こうした課題に対してその都度対応策を講じていくことで、浦さんがずっと当社でトラックドライバーとして働きたいと思ってくれるような会社にしていきたいです」（坂池社長）

「タイヤチェーンを巻くのはたしかに難しかったですが、私個人としては、なんとかなるんじゃないかと思っているんです（笑）。積み込みも運転も全部楽しくて、楽しくない仕事なんてひとつもありません。トラックドライバーという仕事のことを何も知らなかった私が、『トラックドライバーの仕事ってこんなに楽しいんだ！』と思えたのは、入社後実際に仕事をしてみてからでした。求人票を見た時は、『なんとなく』の選択でしたが、今はこの楽しい仕事をこれからもずっと続けていきたいと思っています」（浦さん）



写真左から、浦さん、坂池社長

トラガールファイル

浦 遥香（うら はるか）さん



- 担当業務：2トン車ドライバー（近距離配送）
- 勤続年数：6か月
- 取得資格：準中型自動車免許、フォークリフト運転技能講習修了

「高校新卒入社、社会人歴&ドライバー歴半年」の19歳！
1枚の求人票が導いたトラックドライバーへの道

- 今年3月に石川県金沢市内の高等学校を卒業し、翌4月に㈱ツカサへ入社。3か月の研修を経て、7月にひとり立ち。9月に誕生日を迎え、19歳に。
- 現在の担当業務は、2トン平ボディ車での建築用資材の近距離配送。月・水・金曜は富山県への配送、火・木曜は金沢市内での配達を行っている。
- 趣味はYouTubeやTikTokの動画を見ること、ドライブ。「休日は、休前日の夜寝る前や、休日の朝起きてからの時間に動画を見てリフレッシュしてからドライブに出かけたりしています。ドライブでは、仕事の予習・復習を兼ねて、富山県や金沢市内を走行し、仕事に活かすために近道や新しい道を探しています」。

浦さんのある1日の仕事の流れ

浦さんは日々、どのような「トラガールのお仕事。」に携わっているのでしょうか。お仕事に1日密着させていただきました。

7:20
出社。消毒（写真①）、検温（写真②）、点検、点呼を行ったあと、会社近くに営業所を構える荷主企業（建築資材卸売会社）へ出発。


①


②

8:00
荷主先に到着。再び点呼を受け、同社倉庫内でボルト・ナット等納入製品の検品・仕分け・整理を行う。

9:30
伝票の仕分けをしながら、配達順にトラックへ荷物を積み込んでいく。積み荷は段ボールに入った製品が中心であるため、積み込んだ後、製品が汚れたり濡れたりしないようにシート掛けを行う（写真③）。


③

MEMO　浦さんが火・木曜に担当している市内配送は、①午前便、②午後便、③夕方便――の1日3便。金沢市内の10～15件の配送先へ、日ごと・便ごとに異なる商品を届ける。

10:30
積み込み完了後、午前便の配送へ出発（写真④）。


④

12:00
昼食休憩をとる。

13:00
午後便の積み込みを開始（写真⑤）。


⑤

13:30
積み込み完了後、午後便の配送へ出発（写真⑥）。


⑥

14:30
30分ほど休憩をとる。

15:00
夕方便の積み込みを開始。

16:00
積み込み完了後（写真⑦）、夕方便の配送へ出発。


⑦

17:00
帰社。帰庫時点呼（写真⑧）を受けてから退社。


⑧

浦さんはこんな人！



浦さん㊧と森係長㊨

浦さんの入社以降、ずっと指導を担当しています。当初は「若くて小柄で、大丈夫だろうか」と心配しましたが、教えたことを何でも素直に聞き、まじめに取り組んでくれています。仕事に慣れてくると、初心を忘れて細かな確認が疎かになってしまうものですが、浦さんは基本を怠らず、しっかり丹念に作業をしてくれますし、今やだいぶ運転もうまくなりました。今後は、2トン車でおさまらずに、4トン車、大型車とステップアップして、会社に欠かせない存在になってほしいです。

（直属の上司＝森（もり） 慎哉（しんや）係長）

こちら広報室　四季折々 216

2021・10・15

▼弘兼憲史著『男子の作法』は、小生が齢60を過ぎたことも関係し、共感すべき点が多々あり、今後の人生のバイブルの一つになっています。帯にある「大人の教えここにあり」との言葉にも納得です。人生は一度きりの「片道切符」だからこそ、いかに生き抜くかが大きな鍵であり、その過程で物事に対し「小さな締切をいくつも作る」、決して「いつまでも感動を失わない」ことが大事だと痛感しました。▼私の好きな作家・池波正太郎は、珠玉のエッセイ集『男の作法』で、当時の世相を踏まえた「男のあるべき姿」を、食事や服装から常識についてまで、事細かに言及しています。蕎麦の食べ方や服装のこだわりなどを、私も実践しました。「蕎麦を手繰り二口、三口噛んで喉越しを楽しむ」域には辿り着けませんでしたが、服装については、「お洒落、身嗜みは自分のためにやる、身を引き締めるためにやる」との教えには、その通りと頷きました。「他山の石」として格言に学び、己を磨くのは、生涯をかけての事業です。▼友人と時折囲む「60越えの会」の終盤の話題は、専ら「断捨離」についてです。断捨離は片付け論のひとつで、ヨガの「断行」、「捨行」、「離行」という3つの考え方に基づいて提唱されたものですが、現代においては「不要な物を廃棄して、身の回りを整える」という教訓となっています。しかし、「言うは易し行うは難し」で、いざこれを実践するのは至難の業です。衣服や靴類、そして書籍と、何でこれほど買い込んだのかと自身に疑問符を付けたくなる始末です。▼既に企業を退職し、悠々自適の身となった友人は、信州の安曇野に移り住み、「晴耕雨読」の日々を送っていましたが、暫くすると身体を持て余し、畑を耕し、収穫した野菜を安価で近くの産直センターに卸すようになりました。友人は、「お金の問題ではなく、規則正しい生活リズムが必要だよ」としみじみ語り、都会ではついぞ見たことのなかった彼の眩しい笑顔に接することができました。▼人生の中で分岐点はいくつもありますが、折り返し地点で理想とする第2ステージにうまく進んで行けるかが、難しいところです。可能ならば、身体に羽根が生え、天上の仙界へとのぼるという「羽化登仙」の境地を、垣間見てみたいものです！

（山崎　薫）

TD 東海電子株式会社
無料WEBセミナーご案内
セミナー詳細は携帯からも確認、参加登録が可能です。皆様のご参加お待ちしております！
新製品紹介ウェビナー
ICカード対応の新機能搭載！ ALC-miniIV & 検知器の新しい有効性確認ツール TD-PUMP
10/18（月）　13：30~14：30
『事故撲滅トレーナー』による、運行管理者向け安全教育研修
10/20（水）　13：30~15：00
ASK認定飲酒運転防止インストラクターによる飲酒教育
飲酒教育は、座学と教育グッズで！
10/22（金）　13：30~15：00
アルコール検知器なら東海電子にお任せください!!
TD 東海電子株式会社 https://www.tokai-denshi.co.jp　東海電子　セミナー　検索

配達くん 運輸業専門の経営管理システム
運送業の今を少しだけ便利にする「配達くん」
信頼されて36年
充実のアフターサポート
システムは安心の自社開発!
新バージョンリリース
大創システム株式会社 DAISO SYSTEM CO., LTD.
本　社 〒110-0005 東京都台東区上野1-17-6 TEL.03(3831)3300 FAX.03(3831)3369
東北支店 〒982-0011 宮城県仙台市太白区長町1-3-26 TEL.022(706)2821 FAX.022(706)2822
https://daisosystem.co.jp/　配達くん　検索